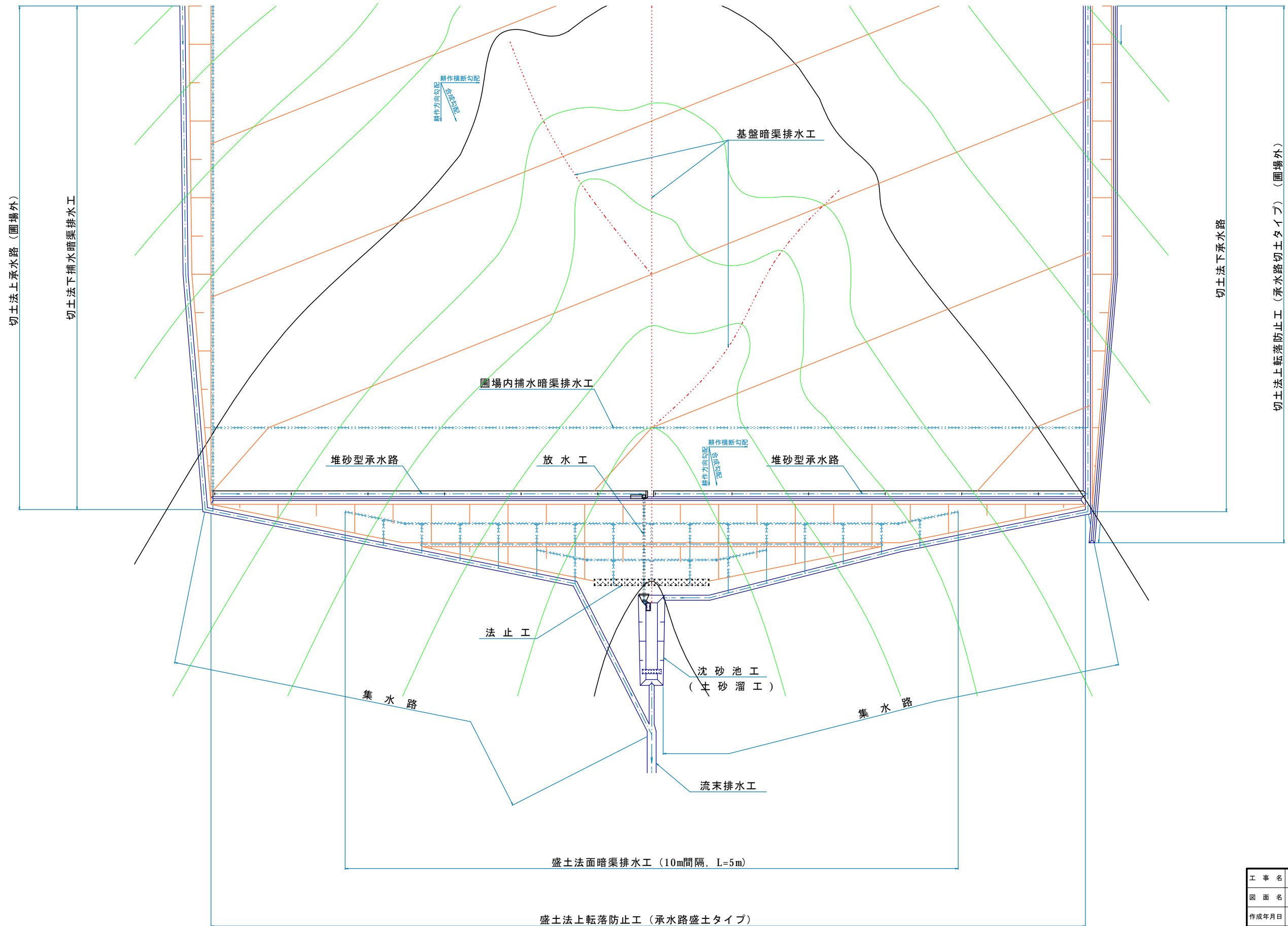


排水処理工計画模式図

S=1/1000



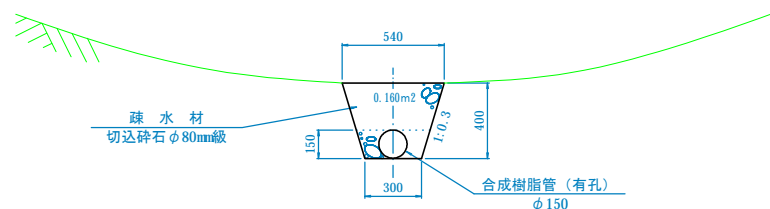
工事名	畑地帯(育成) オホーツク東部地区 調査設計 1		
図面名	排水処理工計画模式図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

排水処理工標準定規図

畦畔盛土工 標準定規図
S=1/100

※削取造成とすること

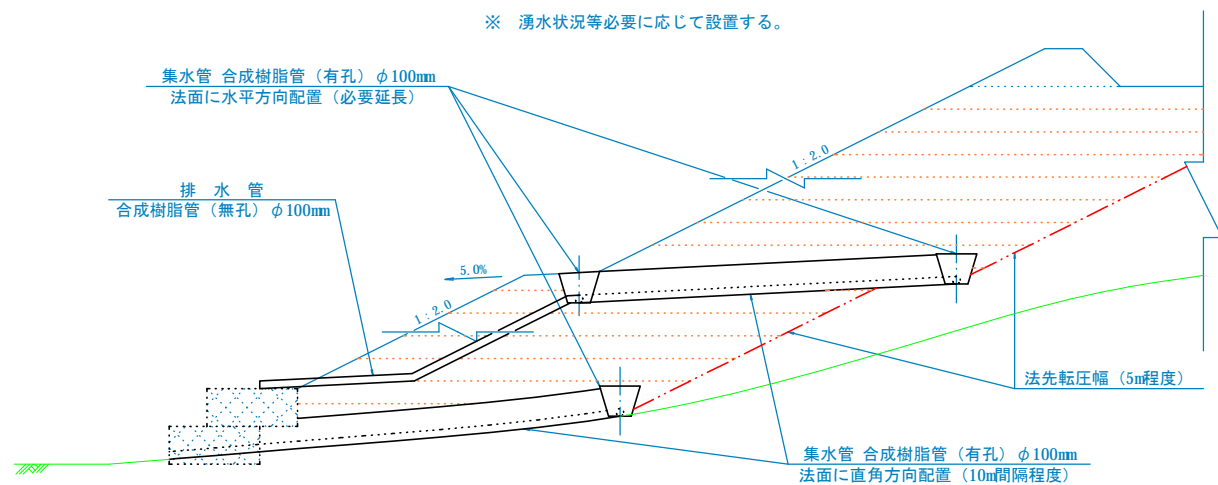
基盤排水工 標準定規図
S=1/40



※ 基盤排水工は、盛土下となる現況地盤の谷線（現況集水線）成りに必要に応じて設置する。

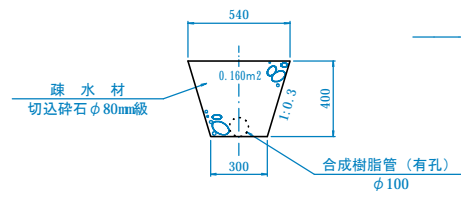
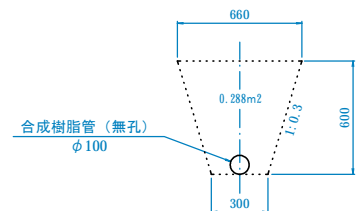
盛土法面暗渠排水工 標準図
S=1/100

※ 湧水状況等必要に応じて設置する。



排水管
S=1/40

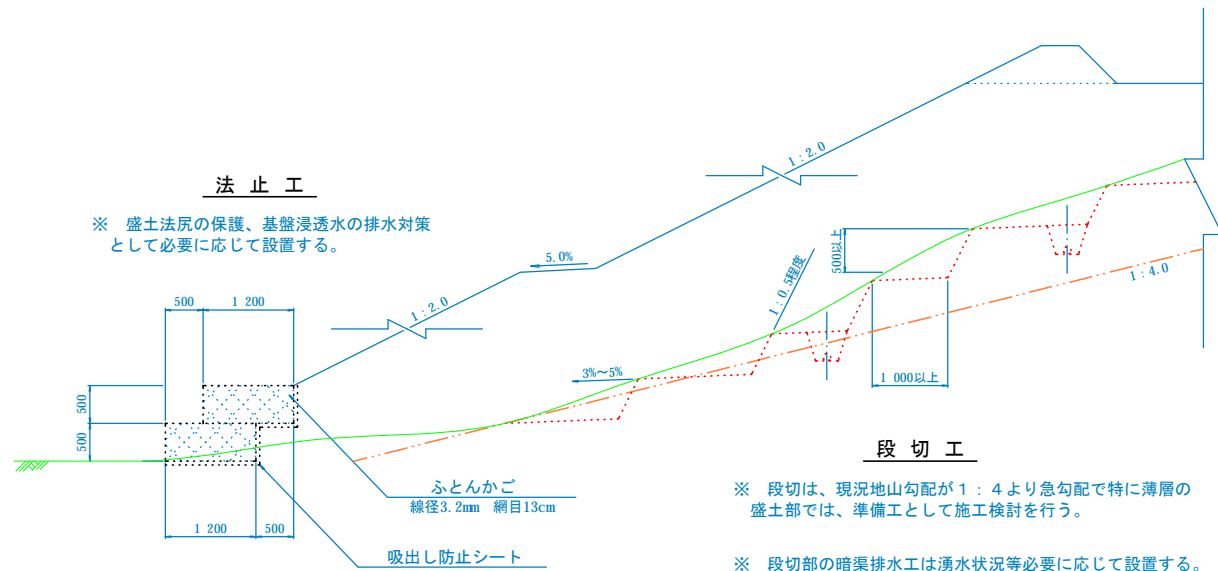
集水管
S=1/40



法止工・段切工（準備工）標準図
S=1/100

法止工

※ 盛土法面の保護、基盤浸透水の排水対策として必要に応じて設置する。

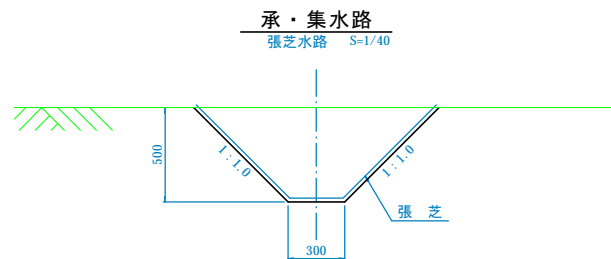


段切工

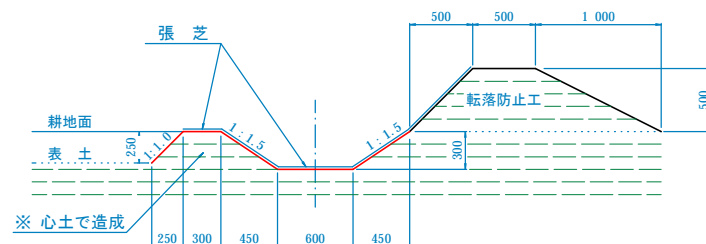
※ 段切は、現況地山勾配が1:4より急勾配で特に薄層の盛土部では、準備工として施工検討を行う。

※ 段切部の暗渠排水工は湧水状況等必要に応じて設置する。

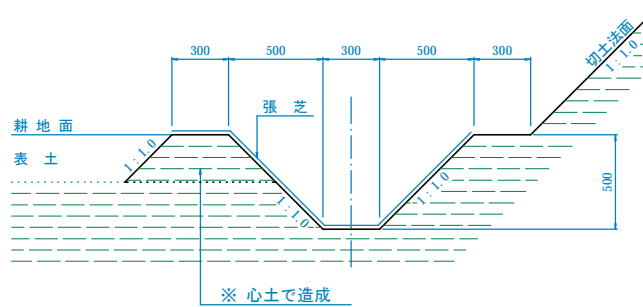
承・集水路 標準定規図
S=1/40



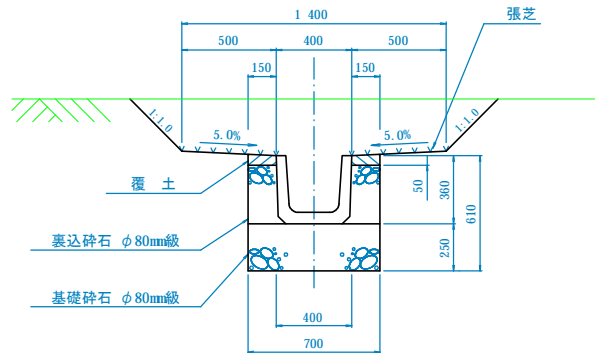
幅広型承水路
張芝水路 S=1/60



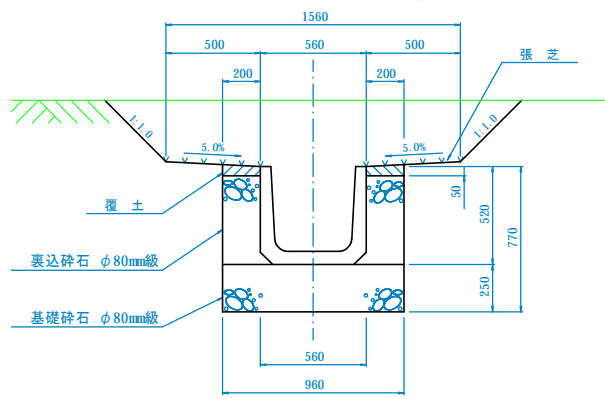
切土法下承水路
張芝水路 S=1/40



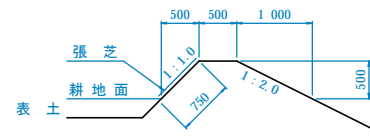
U形トラフ300B
S=1/40



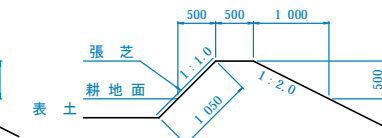
U形トラフ450型
S=1/40



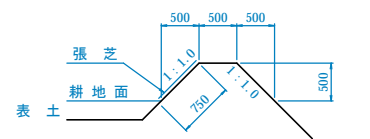
盛土タイプ



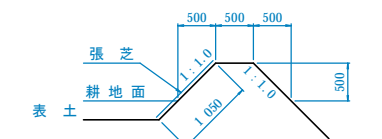
承水路盛土タイプ



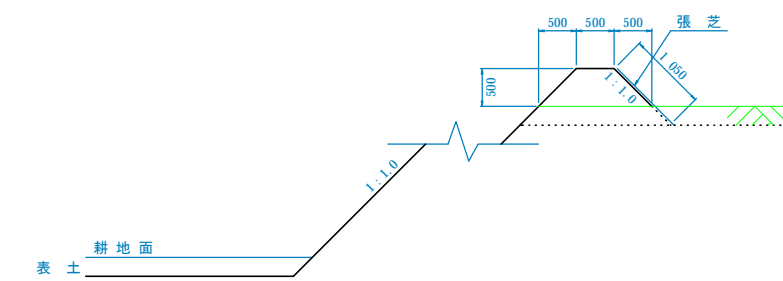
切土タイプ



承水路切土タイプ

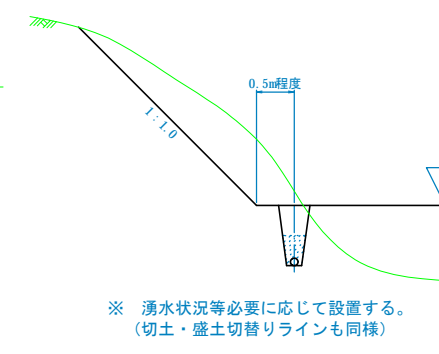


切土法上畦畔盛土工
承水路切土タイプ



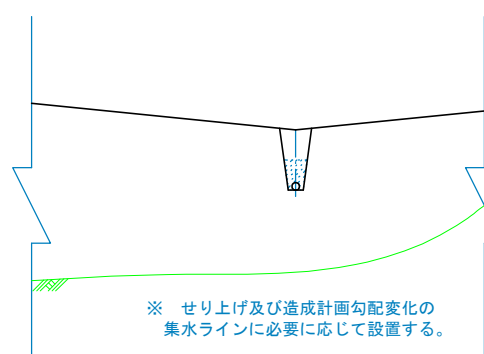
捕水暗渠排水工 標準図
S=1/100

切土法下捕水暗渠排水工



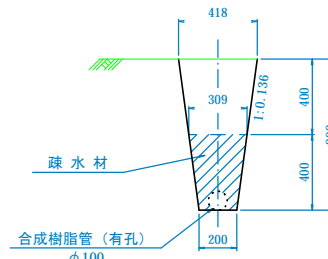
※ 湧水状況等必要に応じて設置する。（切土・盛土切替りラインも同様）

圃場内捕水暗渠排水工



※ セリ上げ及び造成計画勾配変化の集水ラインに必要に応じて設置する。

吸水渠
S=1/40

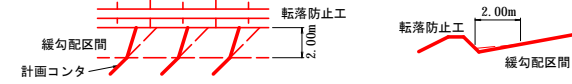


工事名	畑地帯（育成）オホーツク東部地区 調査設計 1		
図面名	排水処理工標準定規図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

※施工時の留意事項
 ・計画勾配の変化点は、屈点から両側10m~20m程度の幅で曲線的なすりつけで仕上げる。

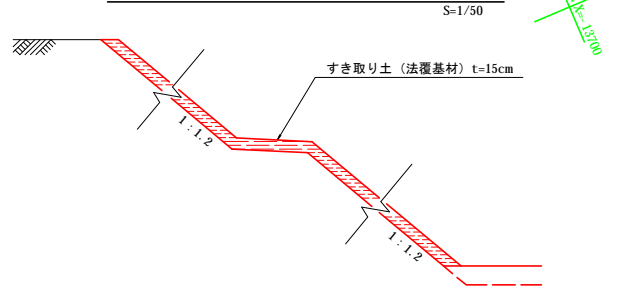


・抜根堆積箇所の表土は剥ぎ取らない。
 ・盛土面の植生を吹付により行う場合は、法面仕上げをキャタピラー転圧で実施する。
 ・表面水の承水路を兼ねる転落防止工および耕作道路工（嵩上タイプ）設置箇所では、排水工が併設されていない場合は、作工から2m程度の幅で緩勾配区間を設置する。

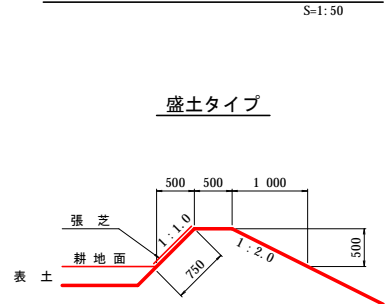


・表面水が流下する箇所の耕作道で、排水工が併設されていない場合は緩勾配の横断勾配を付す。
 ・転落防止工は基盤と一体施工の余盛転圧を行い、削り取り整形とする。
 ・切、盛土の切替り区間において、現地盤勾配が1:4.0以上で特に十分な転圧幅が確保できない盛土部は、断切り施工を行う。

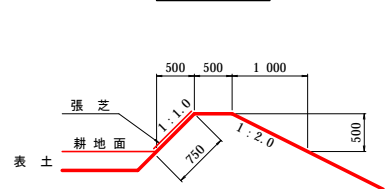
すき取り土法覆基材標準断面図



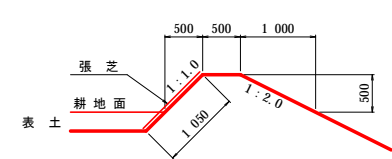
畦畔盛土工 標準断面図



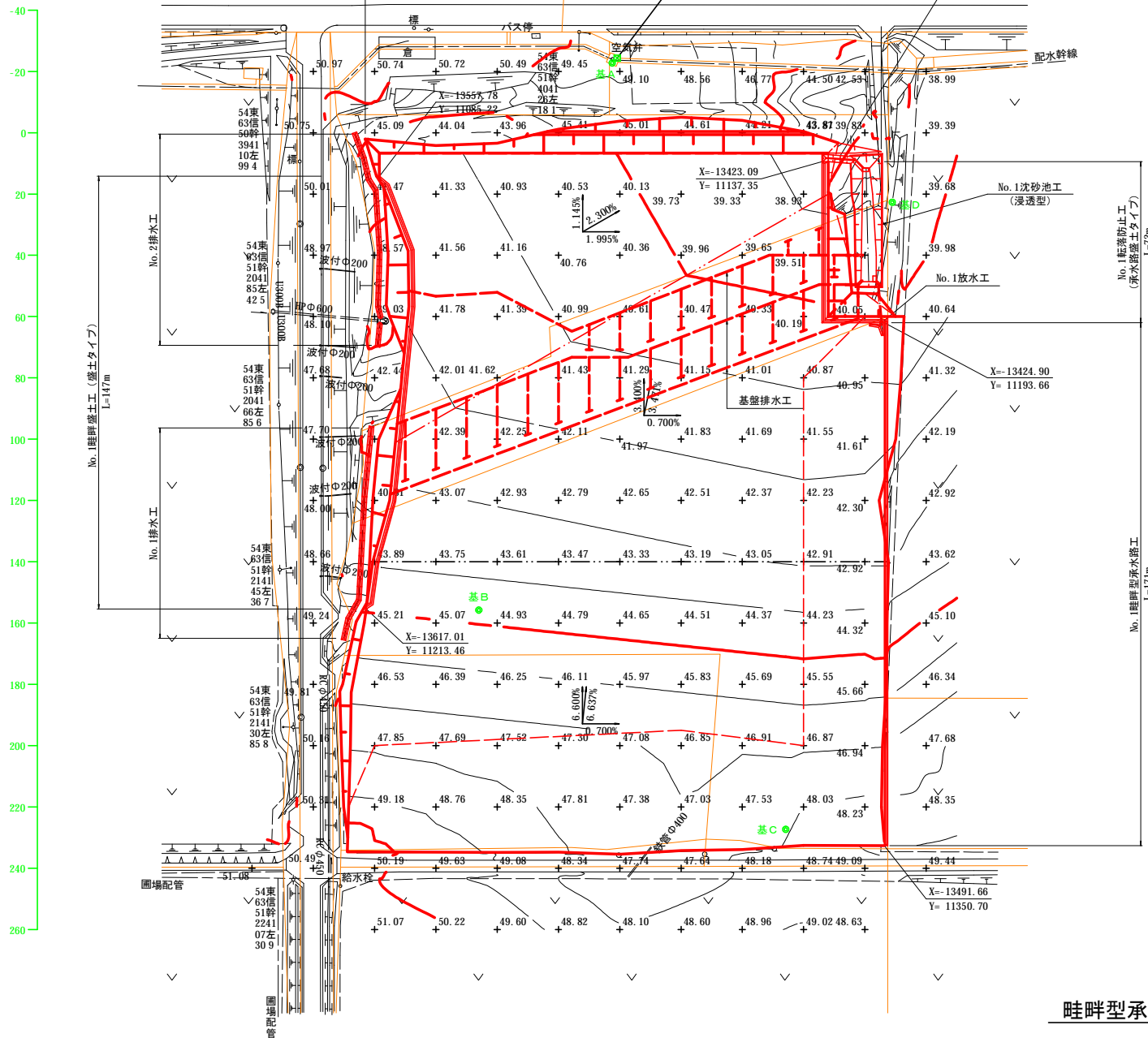
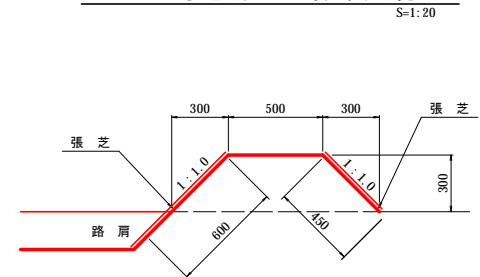
盛土タイプ



承水路盛土タイプ



畦畔型承水路工 標準定規図



基準点成果表

点名	X	Y
基A	-13473.43	+11080.93
基B	-13583.35	+11228.19
基C	-13519.18	+11333.22
基D	-13407.12	+11158.52

方眼点成果表

点名	X	Y
A0	-13553.70	+11071.53
T0	-13406.46	+11134.13

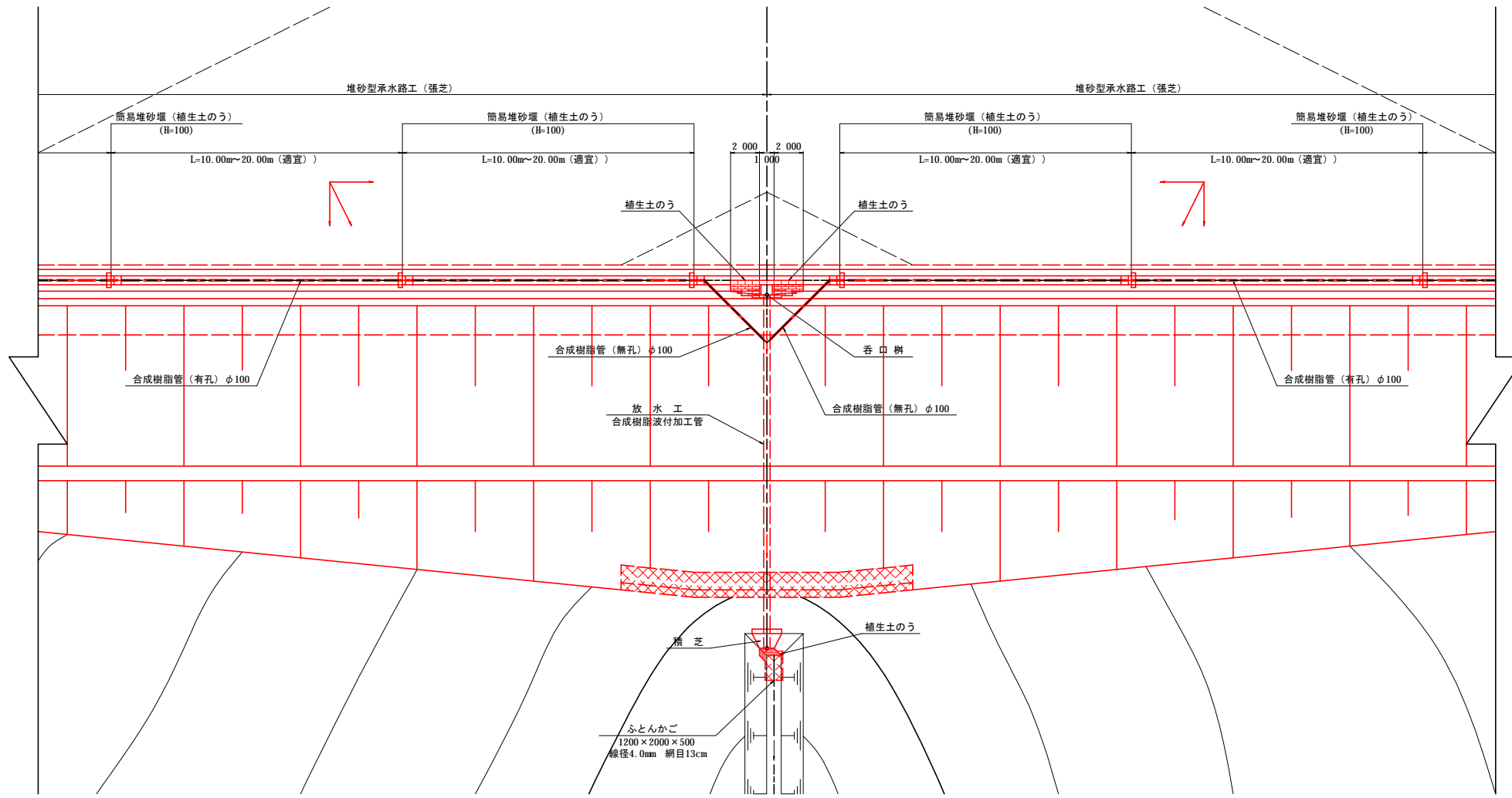
成果表

点名	X	Y
127	-13562.78	+11061.23
K78	-13480.88	+11096.18
K79	-13396.98	+11131.79
148	-13408.23	+11157.26
149	-13423.10	+11192.26
150	-13471.81	+11306.83
K80	-13491.04	+11352.05
K81	-13523.57	+11338.10
K82	-13534.33	+11330.73
K83	-13544.34	+11325.97
K84	-13575.47	+11316.51
K84A	-13585.89	+11311.34
K85	-13655.36	+11282.75
121	-13654.93	+11281.81
128	-13636.43	+11234.36
159	-13629.48	+11224.65
122	-13622.46	+11214.85
123	-13622.58	+11202.18
132	-13614.61	+11192.69
158	-13610.18	+11185.98
157	-13599.35	+11169.56
156	-13595.52	+11159.48
124	-13576.73	+11124.08
125	-13568.68	+11106.76
126	-13563.07	+11078.51

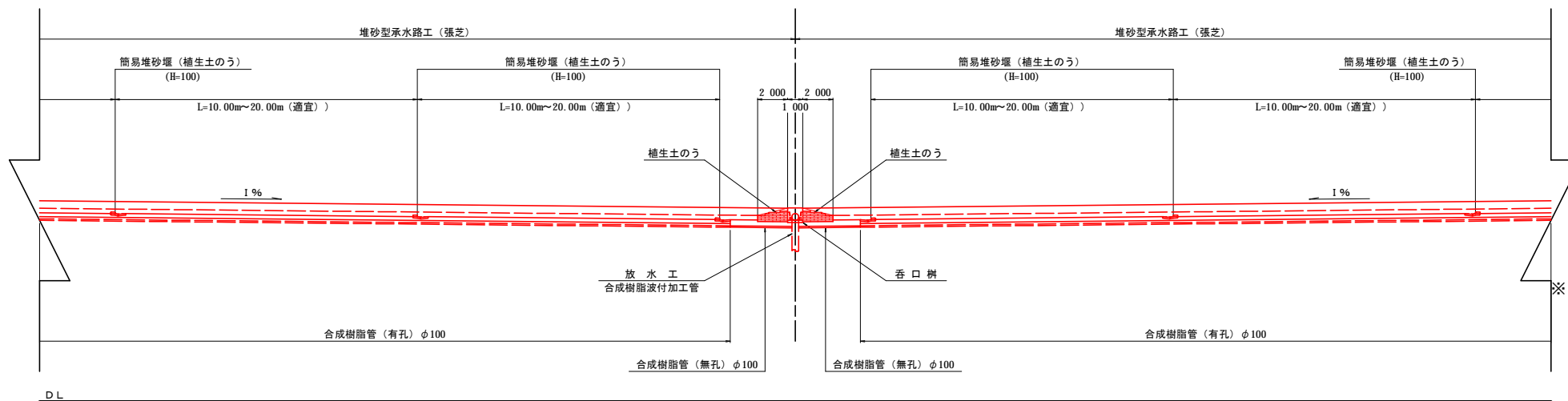
工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区 調査設計 1		
図面名	附帯工設置(施工参考図)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O O コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

堆砂型承水路 標準定規図

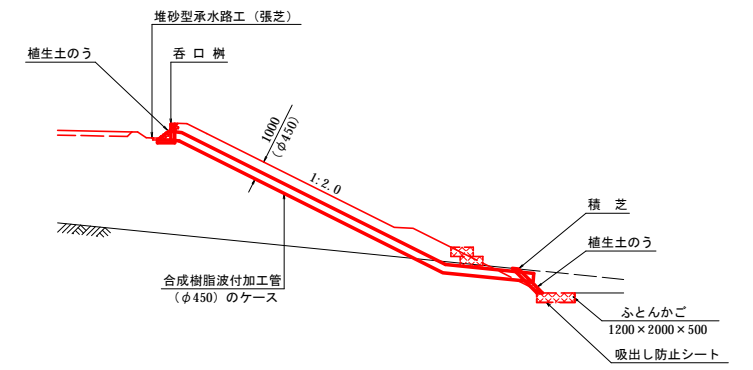
平面図
S=1:200



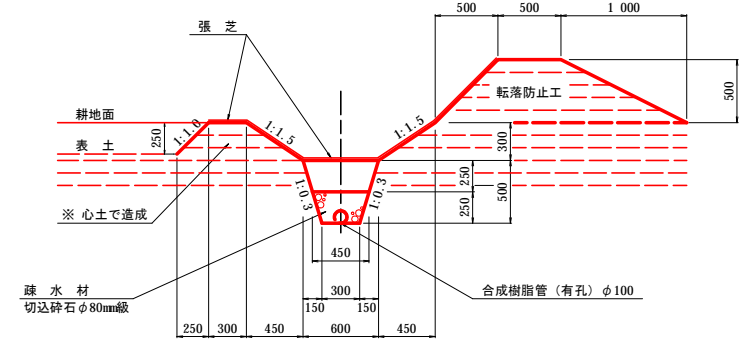
縦断面図
S=1:200



放水工断面図
S=1:200

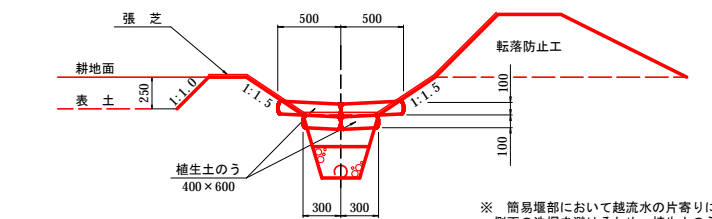


堆砂型承水路
S=1:30



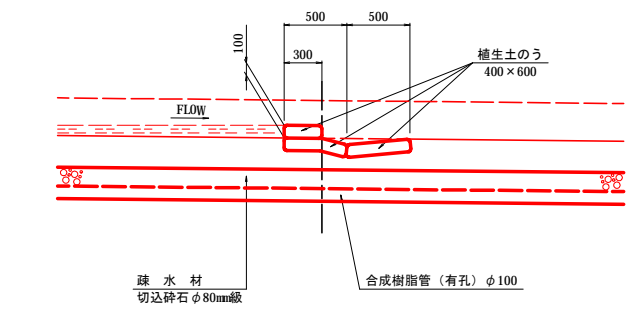
簡易堆砂堰
S=1:30

正面図



※ 簡易堰において越流水の片寄りによる承水路側面の洗掘を避けるため、植生土のうは中心部を多少下げて敷設する。

側面図

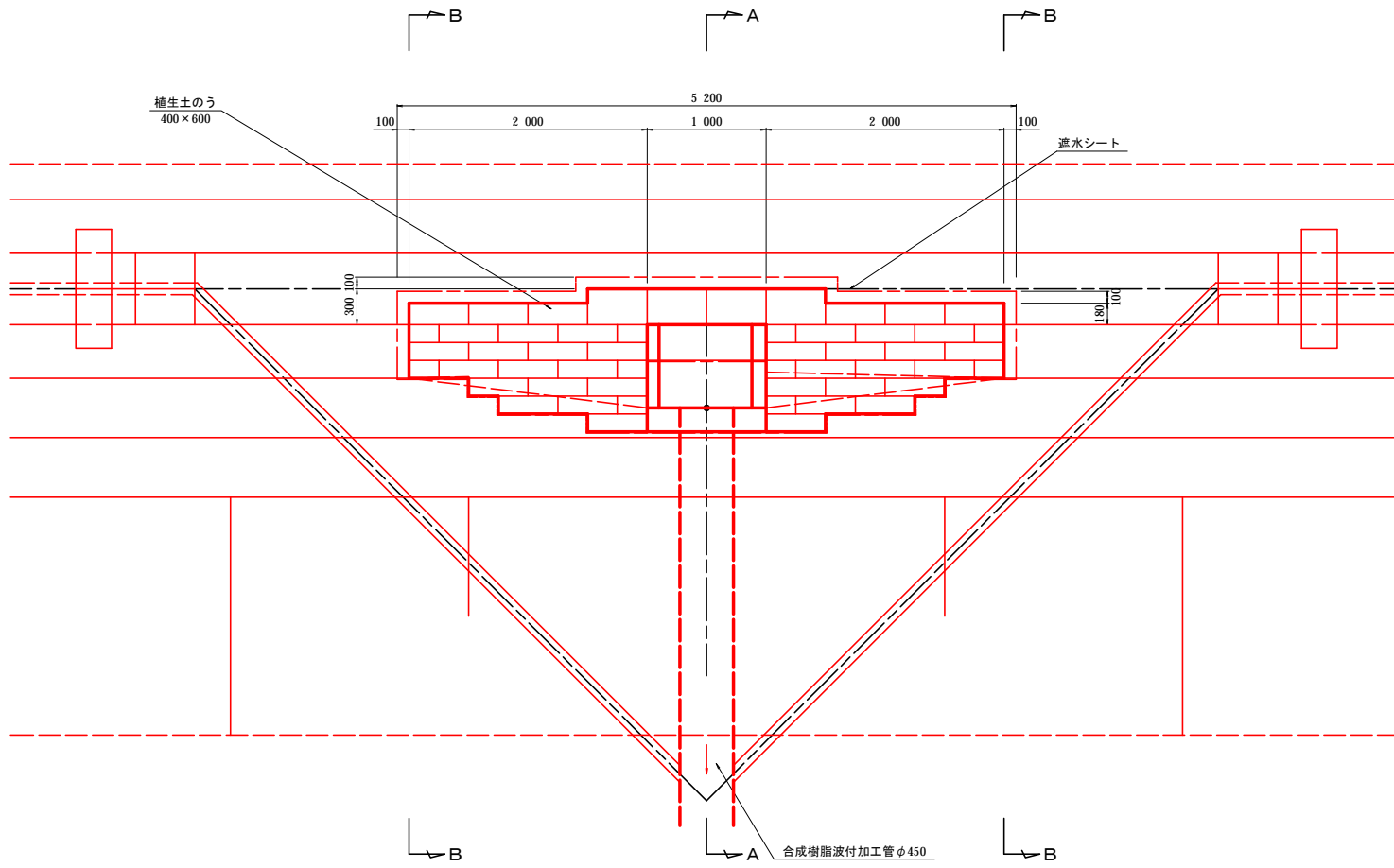


※ 立地条件から沈砂池の設置不能圃場で土砂の流出防止（表土管理）を要する場合に設置を検討する。

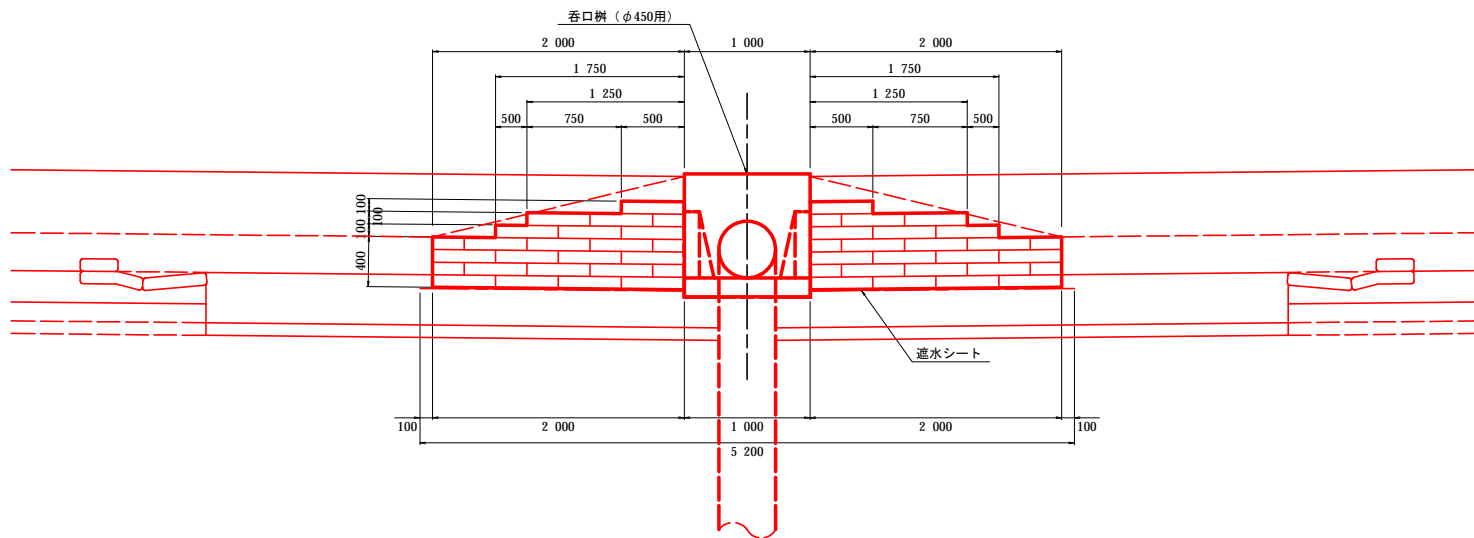
工事名	畑地帯（育成） オホーツク東部地区 調査設計 1		
図面名	堆砂型承水路 標準定規図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

堆砂型承水路 遮水シート敷設図

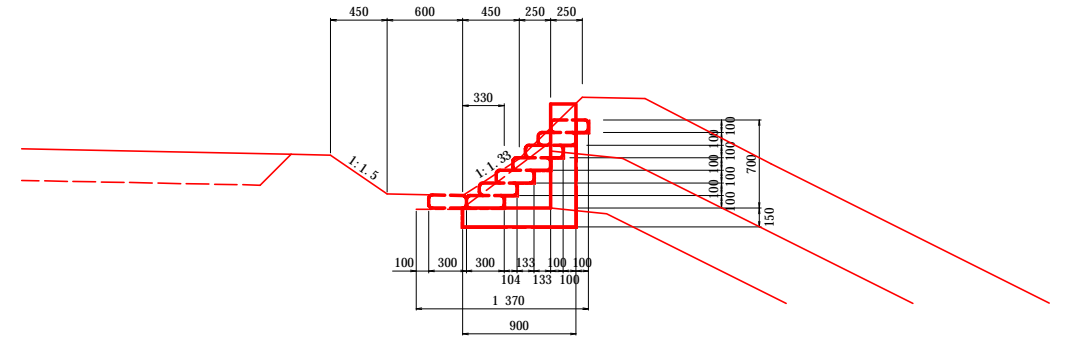
平面図 S=1:30



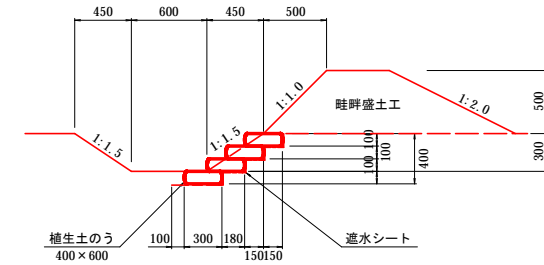
平面図 S=1:30



A-A断面 S=1:30



B-B断面 S=1:30



遮水シート面積数量表

敷設位置	計算式	面積
底面	プラニより	4.59
側面	$(0.40 \times 2.0 + 0.175 + 0.125 + 0.05) \times 2$	2.30
呑口樹	$(0.33 + 0.15 + 0.90 + 0.85) \times 1.00 + 0.90 \times 0.65 / 2 \times 2$	2.52
合計		9.41m ²

植生土のう面積数量表

敷設位置	計算式	断面積
底面	平面積 = $0.30 \times 5.0 = 1.50$ $1.50 / (0.30 \times 0.50) = 10$ 袋 出来上がり寸法(平面) 300×500 断面積 = $0.50 \times 0.10 \times 10$	0.50
法面側 側面	$(2.0 \times 0.30 + (1.75 + 1.25 + 0.50) \times 0.1) \times 2$	1.90
合計		2.40m ²

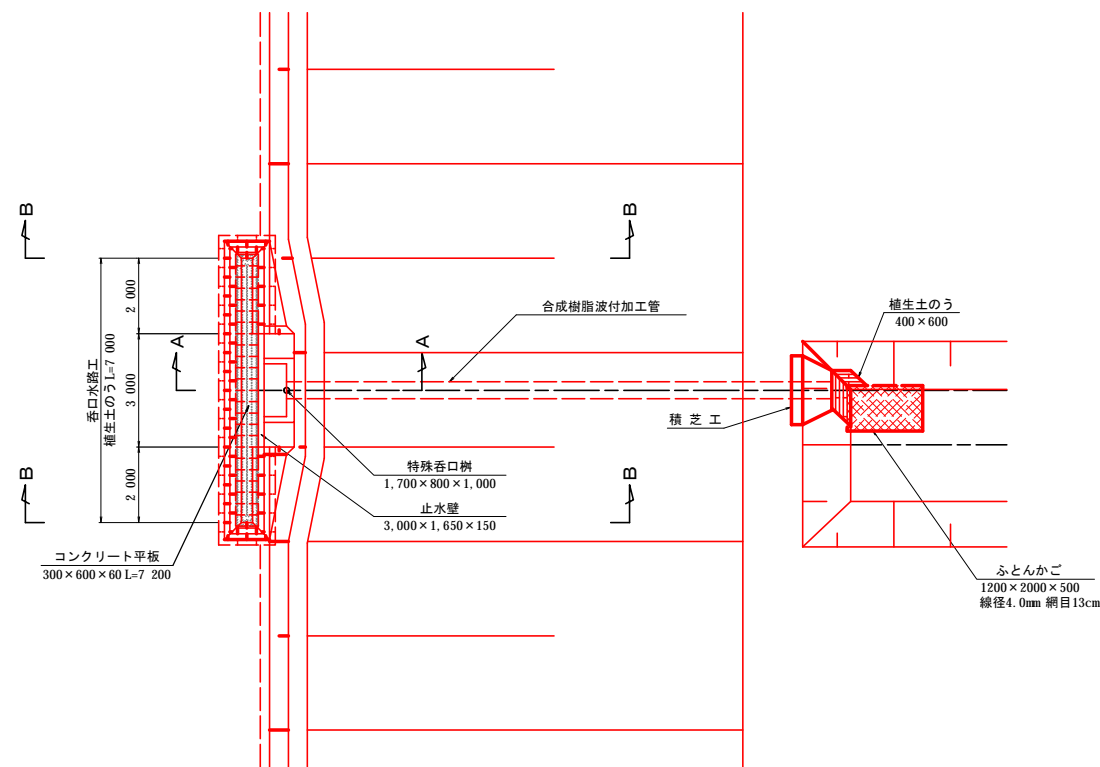
遮水シート規格
 単層 軟式塩ビ厚1.0mm 伸び率290%以上

工事名	畑地帯(育成) オホーツク東部地区 調査設計1		
図面名	堆砂型承水路 遮水シート敷設図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 Oコンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

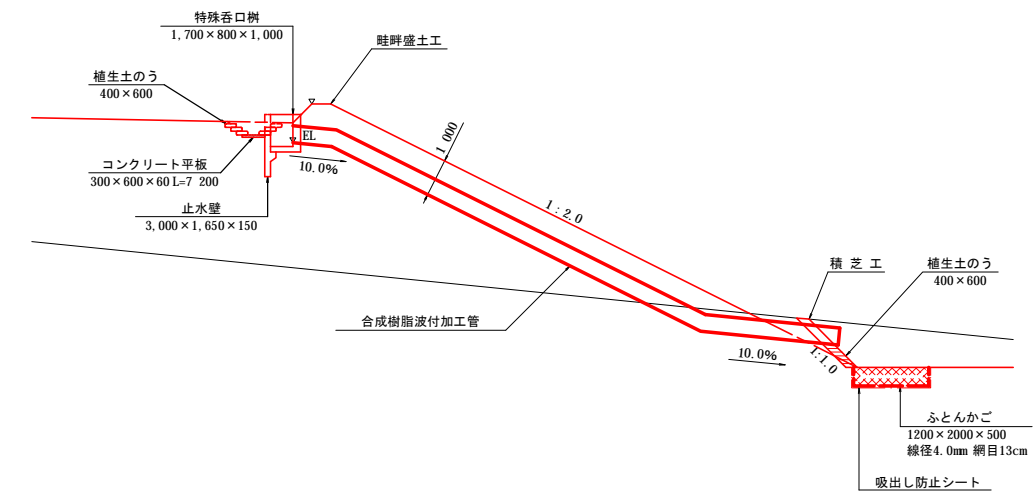
放水工特殊呑口柵 [K型柵] 標準定規図

(φ450、φ600)

平面図
S=1:100

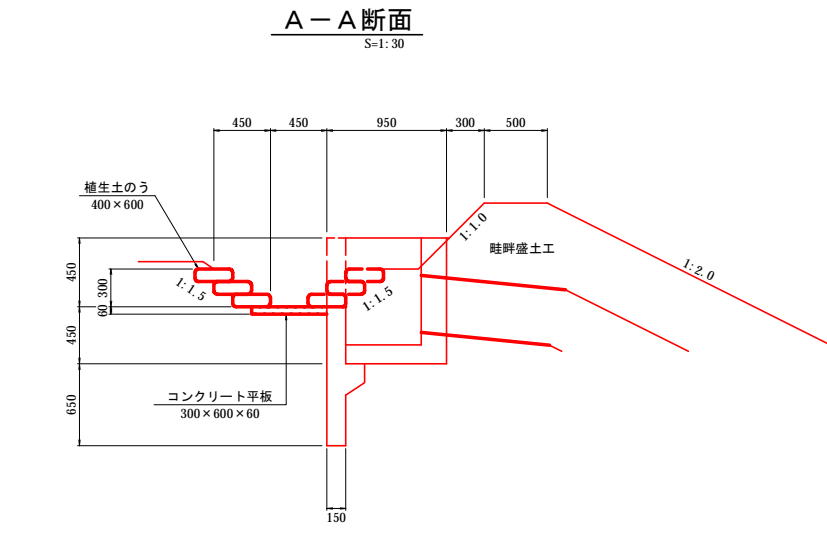


断面図
S=1:100

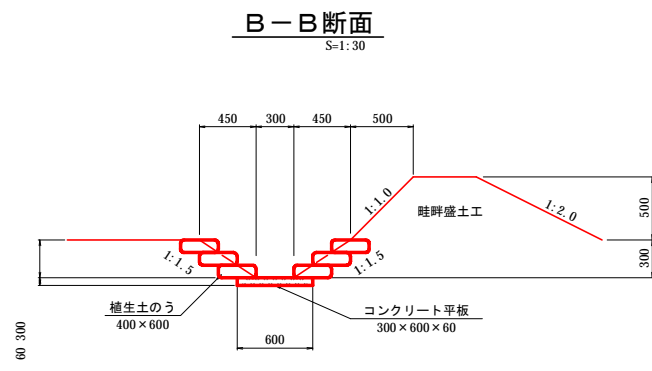


特殊呑口柵 (φ450~600) 構造図
S=1:30
(農業土木用特殊呑口柵)

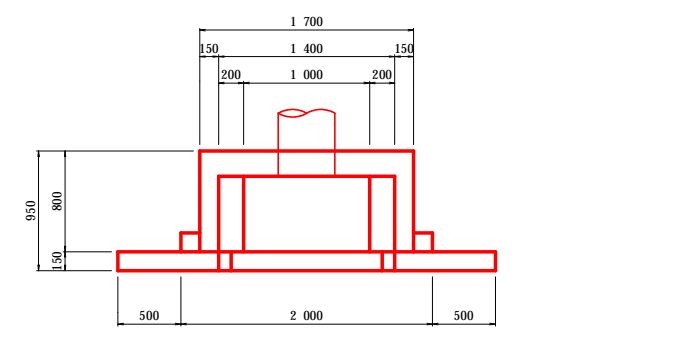
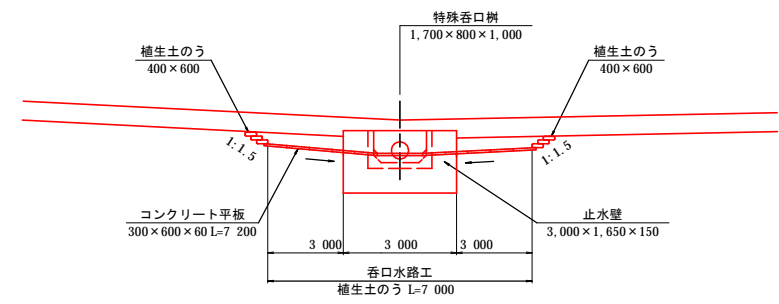
平面図



B-B断面
S=1:30

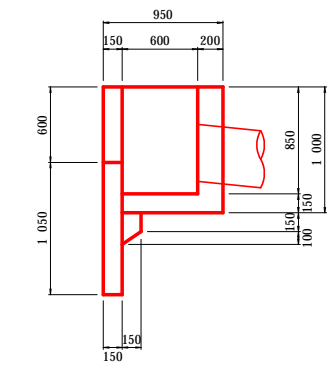
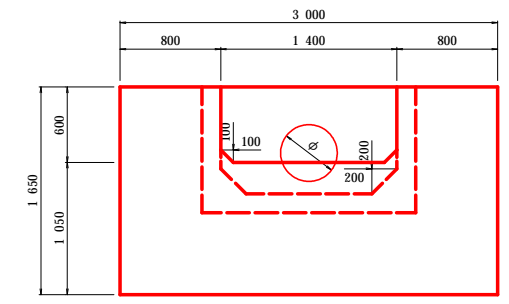


正面図
S=1:100



正面図

側面図

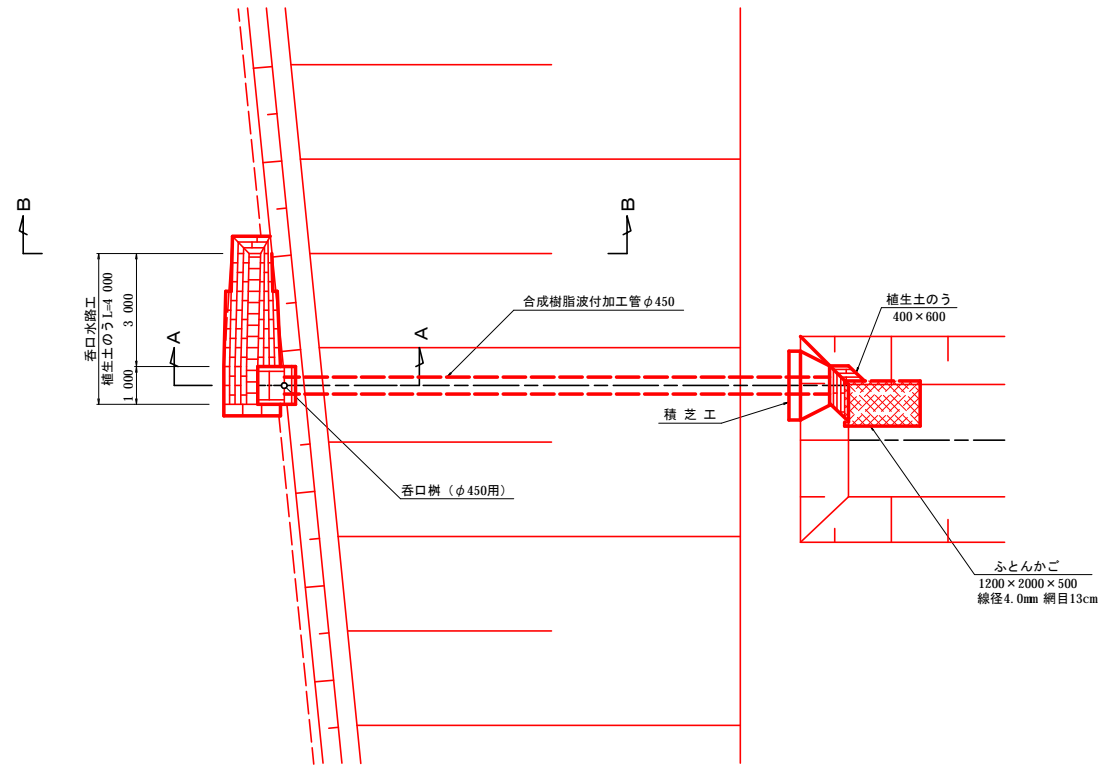


工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	放水工特殊呑口柵 [K型柵] 標準定規図 (φ450、φ600)		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

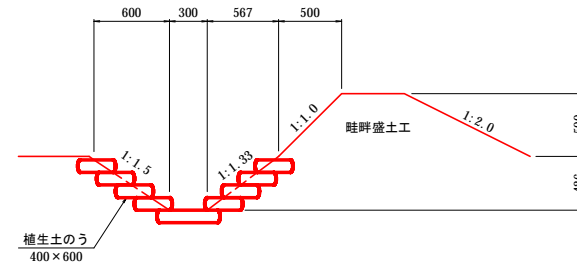
放水工標準定規図

φ450呑口 Aタイプ

平面図
S=1:100

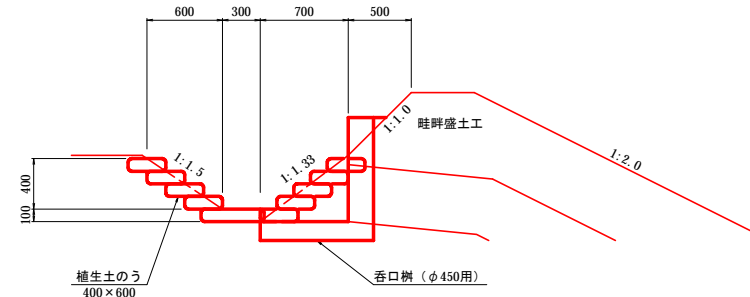
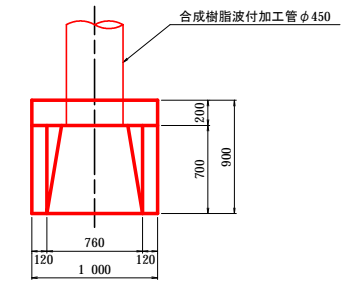


A-A断面
S=1:30



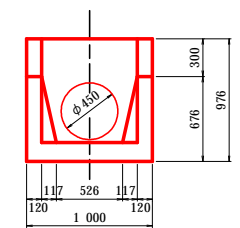
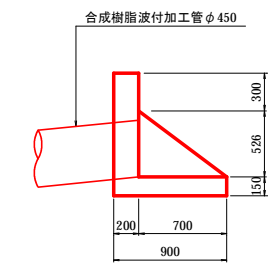
呑口樹 (φ450用) 構造図
横断用呑口樹 φ450用 S=1:30

平面図

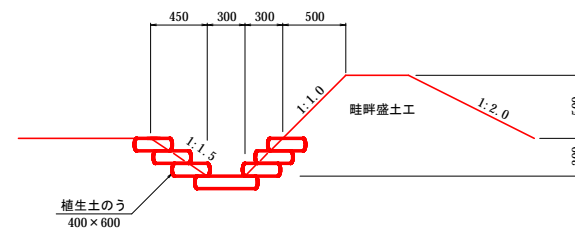


側面図

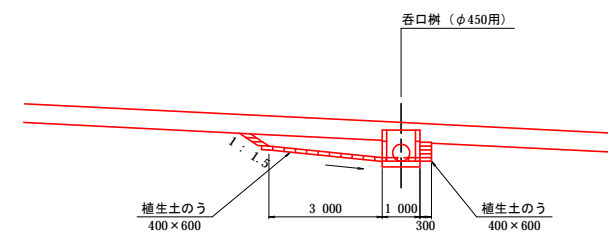
正面図



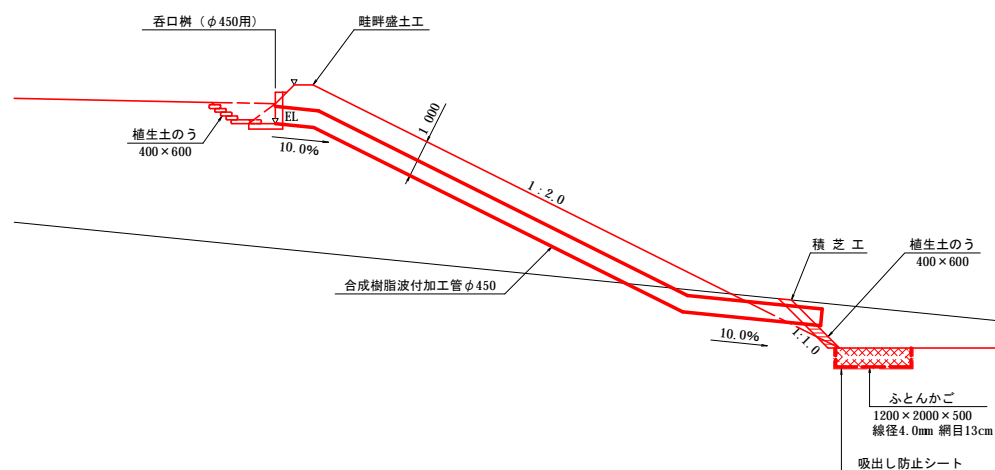
B-B断面
S=1:30



正面図
S=1:100



断面図
S=1:100



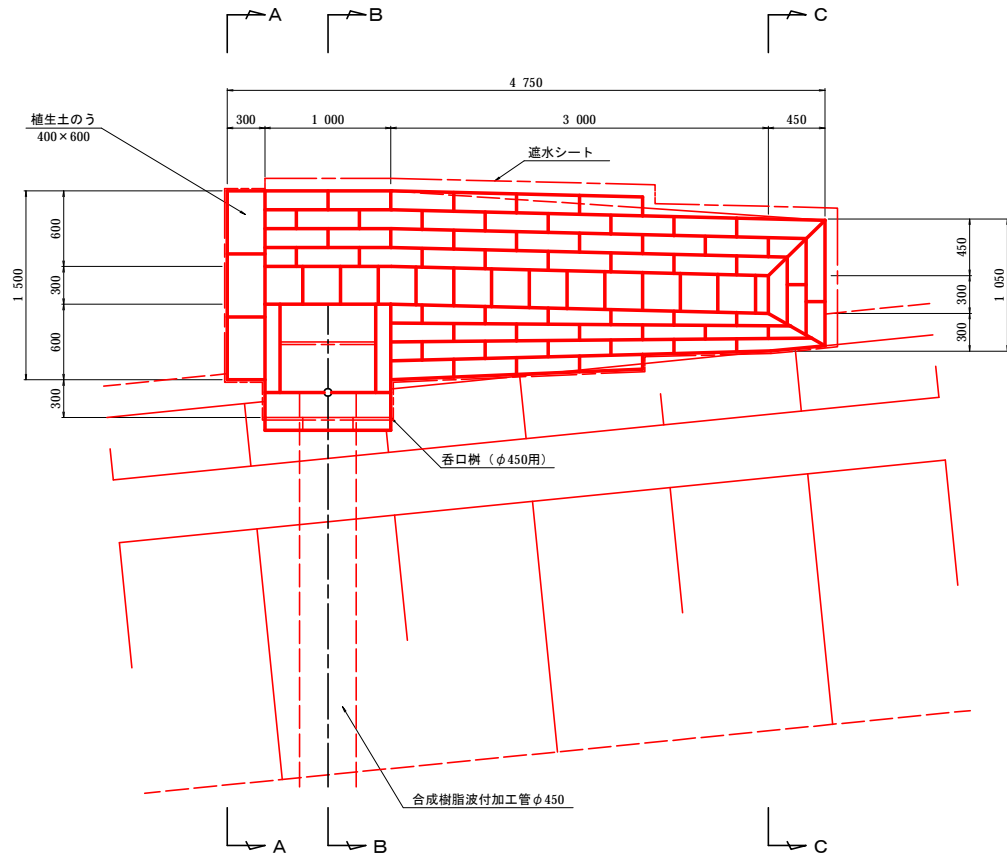
工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	放水工標準定規図 φ450呑口 Aタイプ		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O Oコンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

放水工遮水シート敷設図

φ450呑口 Aタイプ

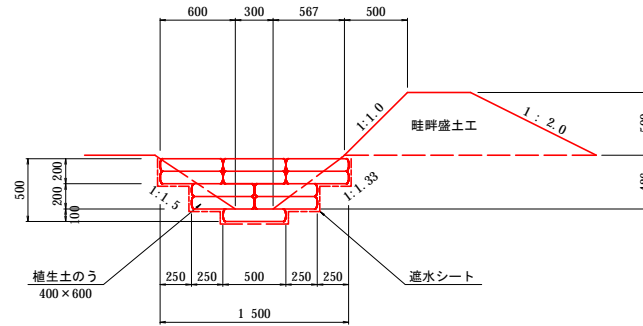
平面図

S=1:30



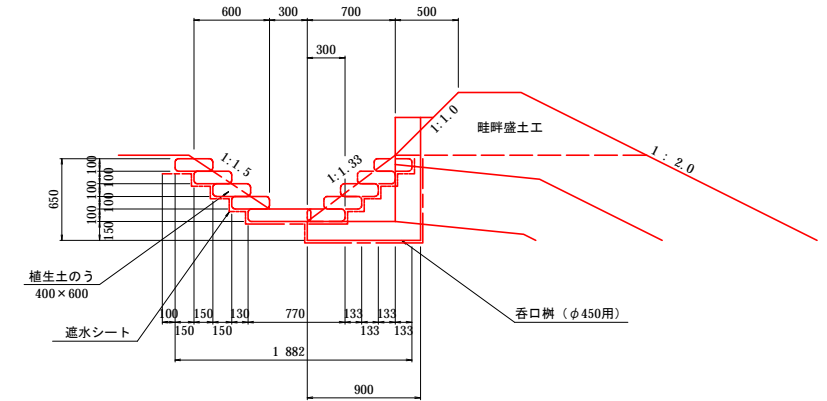
A-A断面

S=1:30



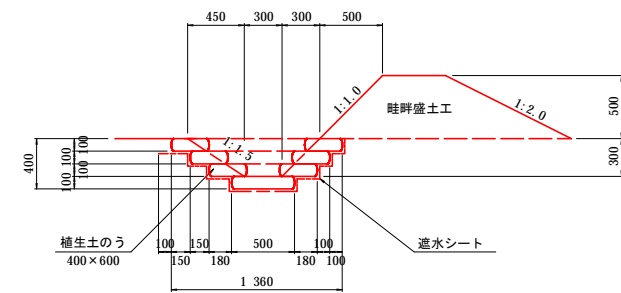
B-B断面

S=1:30



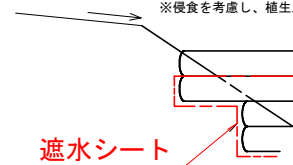
C-C断面

S=1:30



ほ場摺り付け

※水路へ表面水を導くよう勾配を設けること。
※侵食を考慮し、植生土のうは耕地面より低くすること。

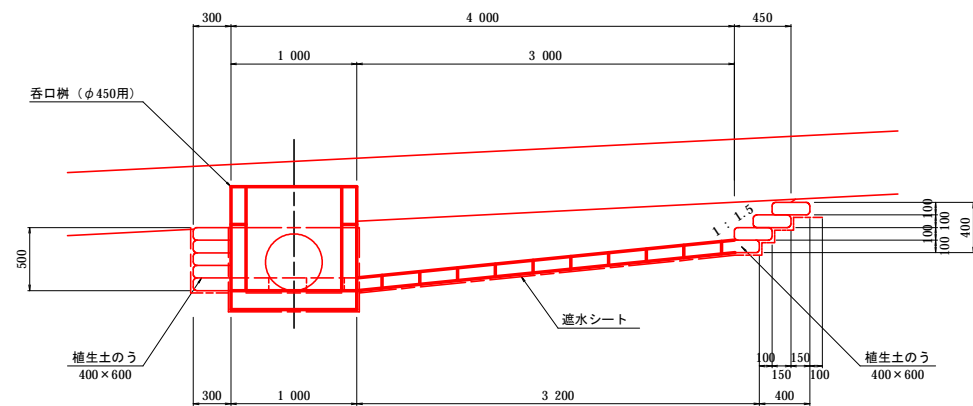


遮水シート

※遮水シート端部から裏側に表面水が流入しないようにすること。

断面図

S=1:30



遮水シート面積数量表

敷設位置	計算式	面積
底面	0.50×4.50	2.25
耕地側 側面	$(1.08+0.88) \div 2 \times (4.90+4.50) \div 2$	4.61
法面側 側面	$(1.03+0.78) \div 2 \times (3.90+3.50) \div 2$	3.35
両端部	$0.50 \times 0.10 + 1.25 \times 0.40 + (0.50+1.36) \div 2 \times 0.80$	1.29
呑口柵	$(0.30+0.15+0.90+0.65) \times 1.00 + 0.90 \times 0.65 \div 2 \times 2$	2.59
合計		14.09m ²

植生土のう面積数量表

敷設位置	計算式	断面積
底面	平面積 = $0.50 \times 4.5 = 2.25$ $2.25 / (0.30 \times 0.50) = 15$ 袋 出来上がり寸法(平面) 300×500 断面積 = $0.50 \times 0.10 \times 15$	0.75
耕地側 側面	$(0.40+0.30) \div 2 \times (3.60+3.30) \div 2 \times 0.40 \times 1.00$	1.61
法面側 側面	$(0.40+0.30) \div 2 \times (3.60+3.30) \div 2$	1.21
両端部	$(0.86+1.36) \div 2 \times 0.30 + (1.00+1.50) \div 2 \times 0.40$	0.83
合計		4.40m ²

遮水シート規格

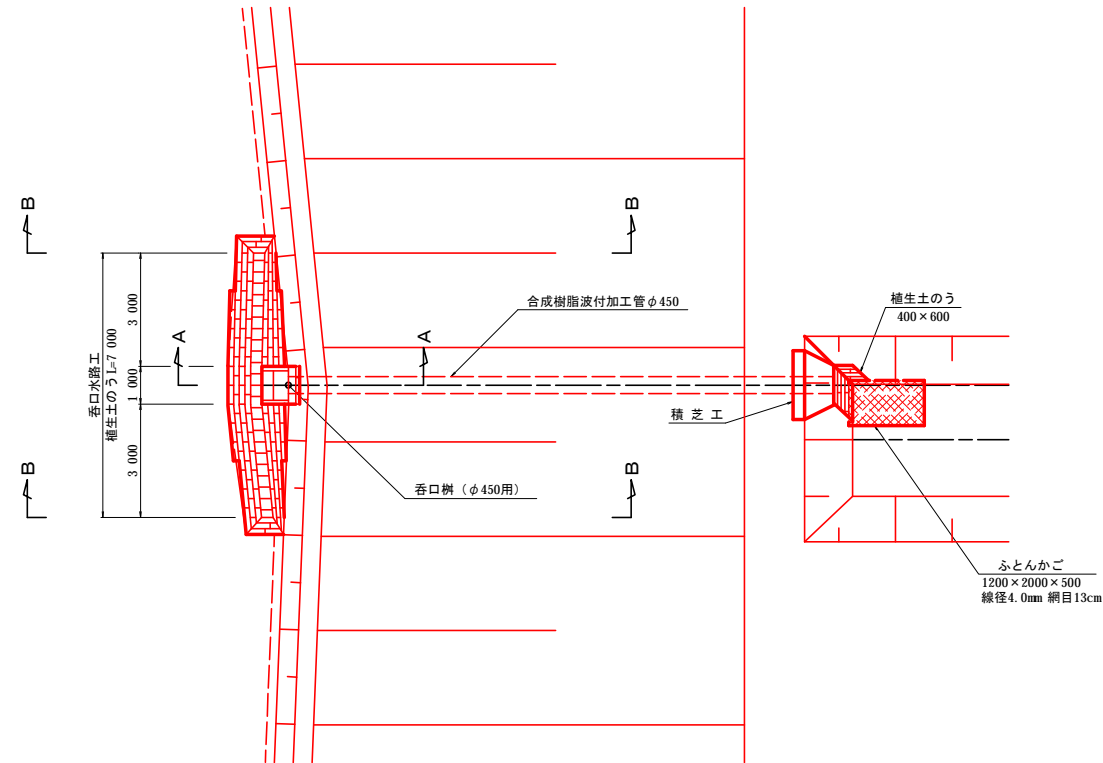
単層 軟式塩ビ厚1.0mm 伸び率290%以上

工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	放水工遮水シート敷設図φ450呑口Aタイプ		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O O コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

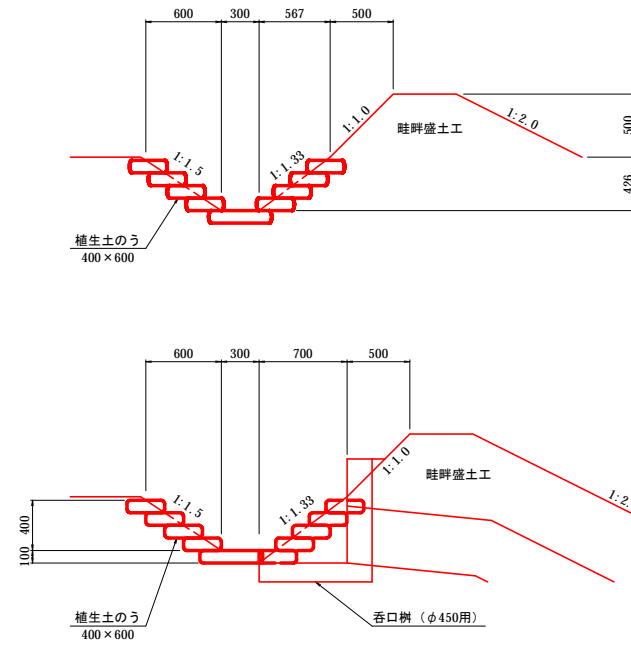
放水工標準定規図

φ450呑口 Bタイプ

平面図
S=1:100

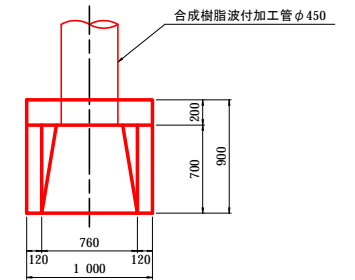


A-A断面
S=1:30

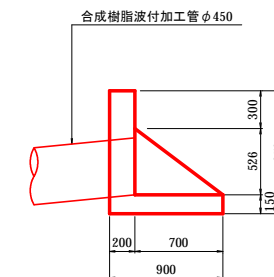


呑口樹（φ450用）構造図
横断用呑吐口樹φ450用 S=1:30

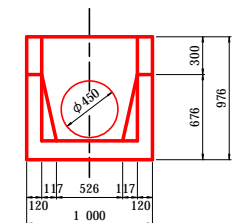
平面図



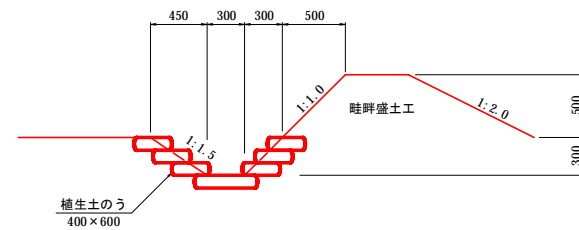
側面図



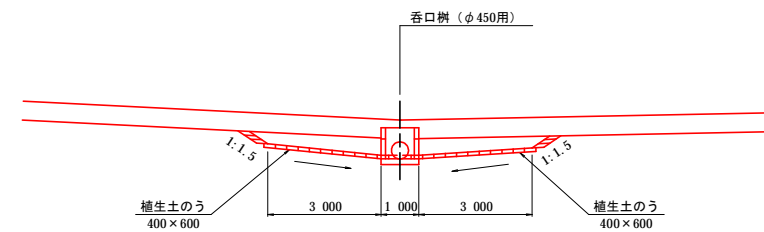
正面図



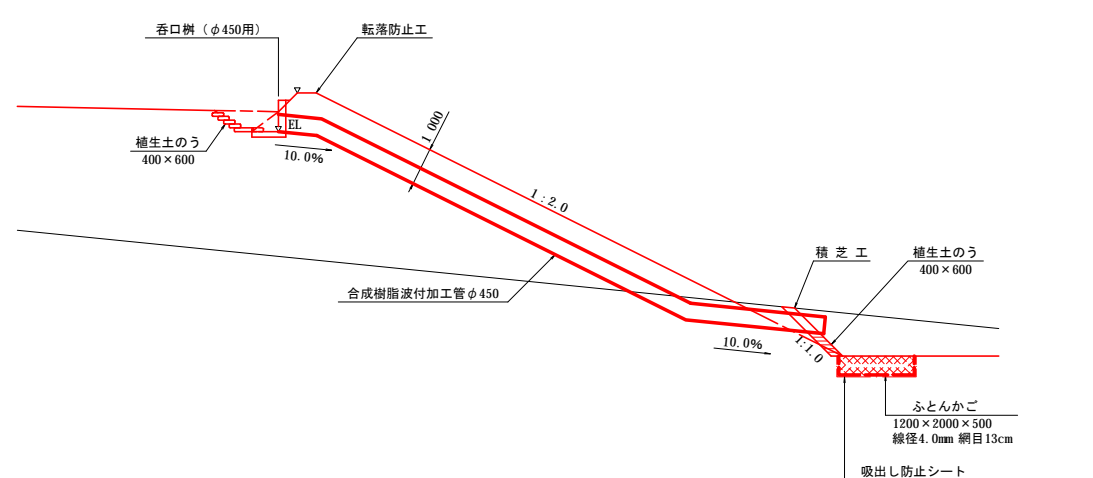
B-B断面
S=1:30



正面図
S=1:100



断面図
S=1:100

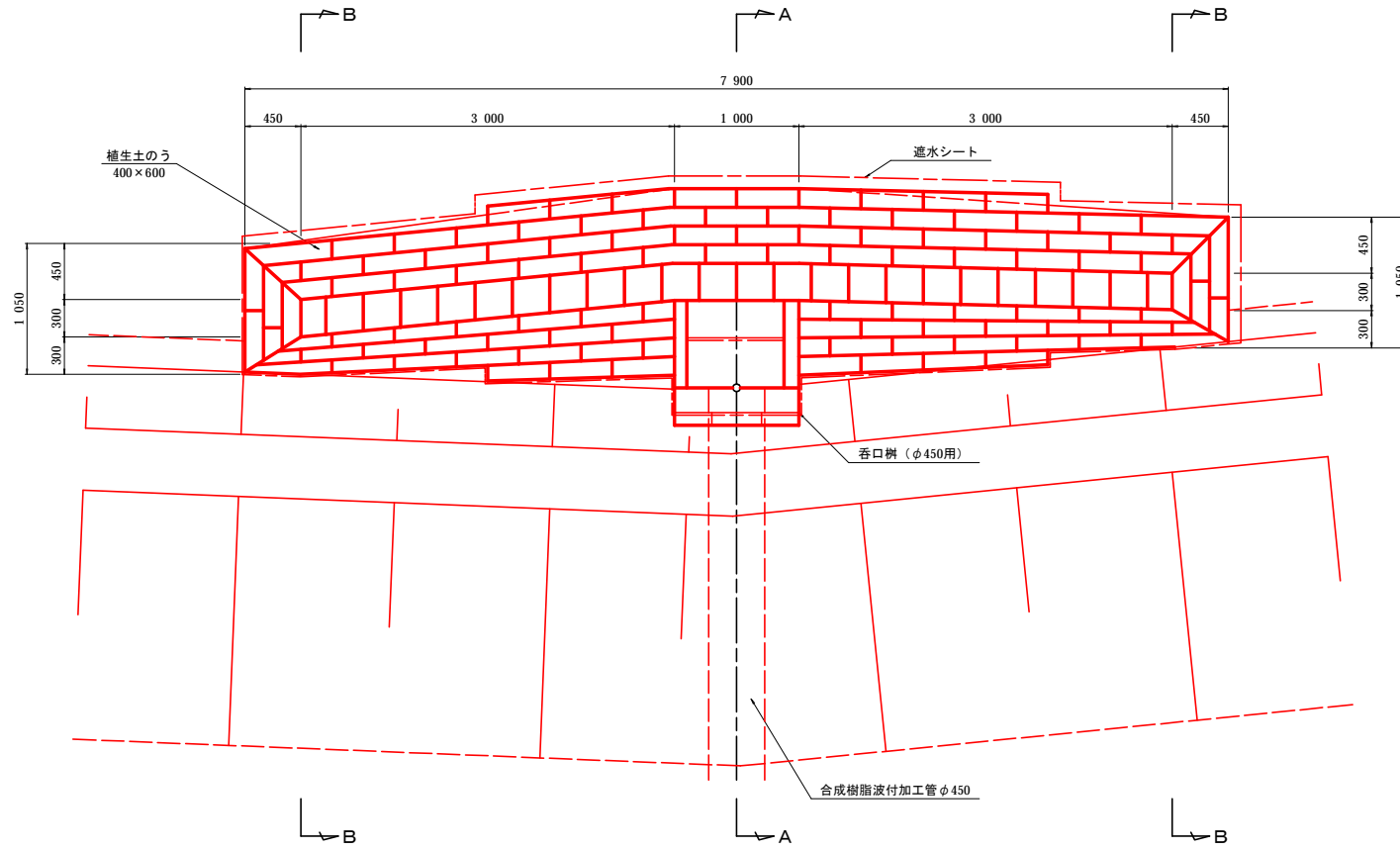


工事名	畑地帯（育成）オホーツク東部地区 調査設計 1		
図面名	放水工標準定規図 φ450呑口 Bタイプ		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

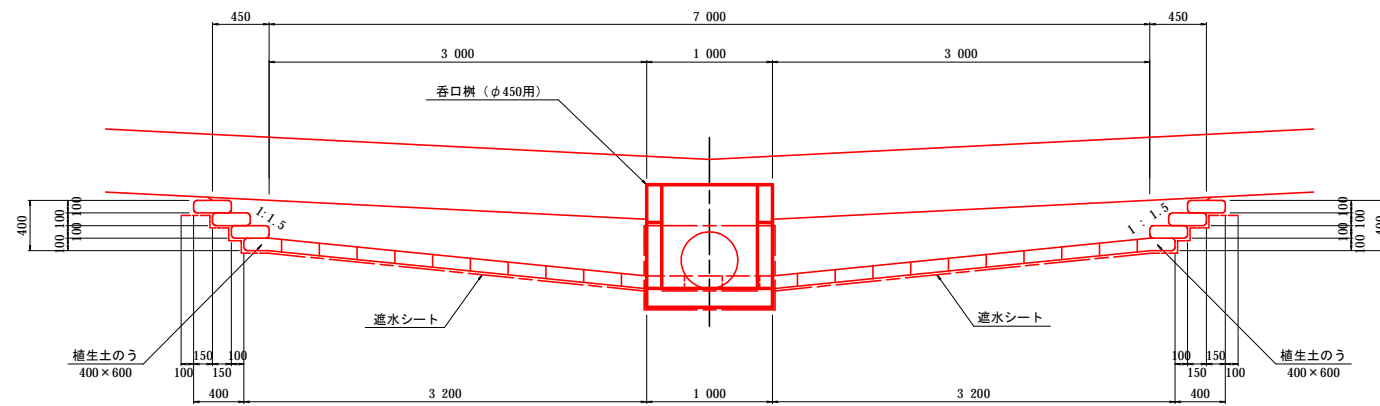
放水工吸出し防止シート敷設図

φ450呑口 Bタイプ

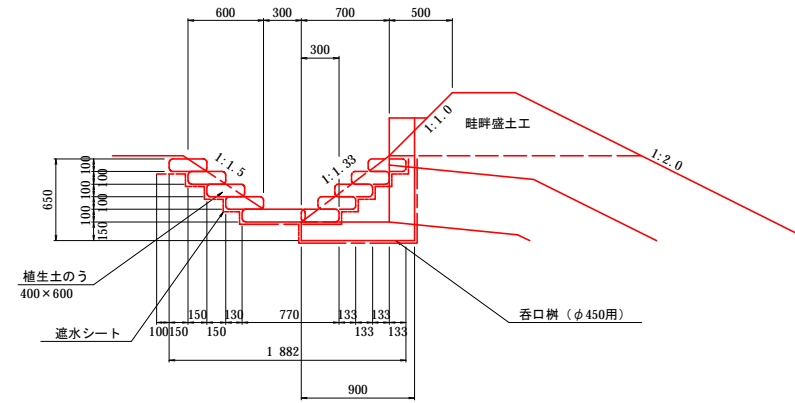
平面図
S=1:30



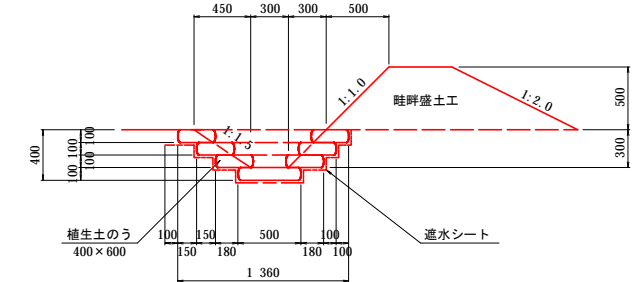
断面図
S=1:30



A-A断面
S=1:30

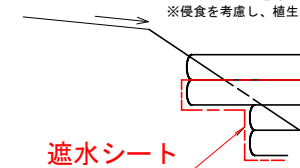


B-B断面
S=1:30



ほ場摺り付け

※水路へ表面水を導くよう勾配を設けること。
※侵食を考慮し、植生土のうは耕地面より低くすること。



遮水シート

※遮水シート端部から裏側に表面水が流入しないようにすること。

遮水シート面積数量表

敷設位置	計算式	面積
底面	0.50×7.4	3.70
耕地側 側面	$(1.08+0.88) \div 2 \times (3.60+3.20) \div 2 \times 2 + 1.08 \times 1.00$	7.74
法面側 側面	$(1.03+0.78) \div 2 \times (3.60+3.20) \div 2 \times 2$	6.15
両端部	$(0.50+1.36) \div 2 \times 0.80 \times 2$	1.49
呑口側	$(0.30+0.15+0.90+0.65) \times 1.00+0.90 \times 0.65 \div 2 \times 2$	2.59
合計		21.67m ²

植生土のう面積数量表

敷設位置	計算式	断面積
底面	平面積 = $0.50 \times 7.7 = 3.85$ $3.85 / (0.30 \times 0.50) = 26$ 袋 出来上がり寸法(平面) 300×500 断面積 = $0.50 \times 0.10 \times 26$	1.30
耕地側 側面	$(0.40+0.30) \div 2 \times (3.60+3.30) \div 2 \times 2 + 0.40 \times 1.00$	2.82
法面側 側面	$(0.40+0.30) \div 2 \times (3.60+3.30) \div 2 \times 2$	2.42
両端部	$(0.86+1.36) \div 2 \times 0.30 \times 2$	0.67
合計		7.21m ²

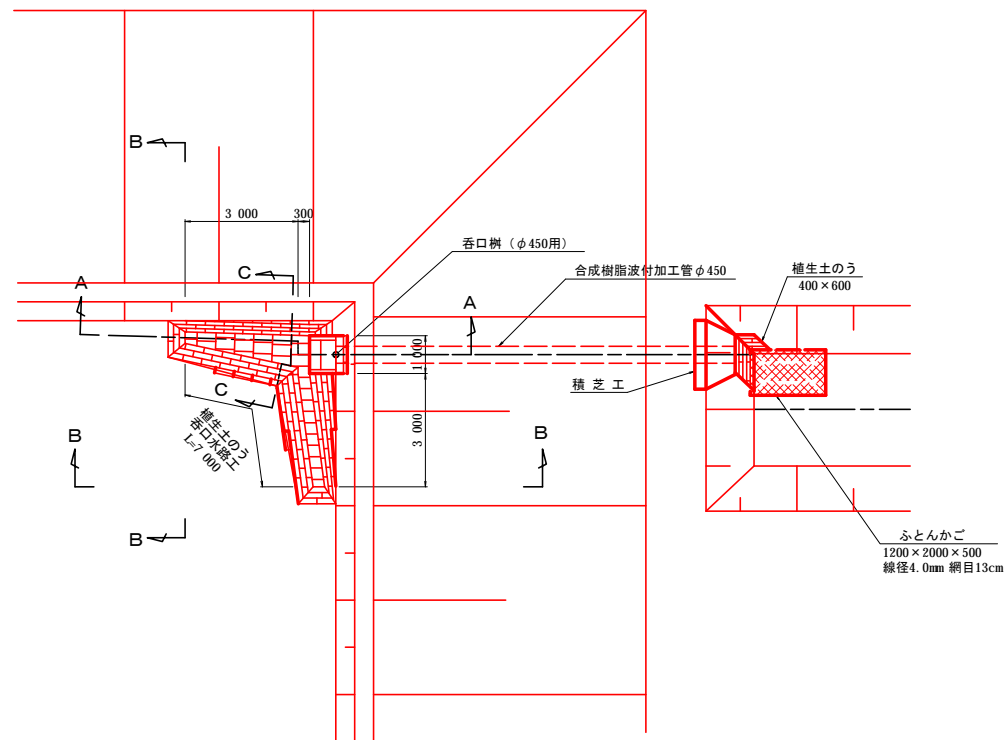
遮水シート規格
単層 軟式塩ビ厚1.0mm 伸び率290%以上

工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	放水工遮水シート敷設図φ450呑口Bタイプ		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O O コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

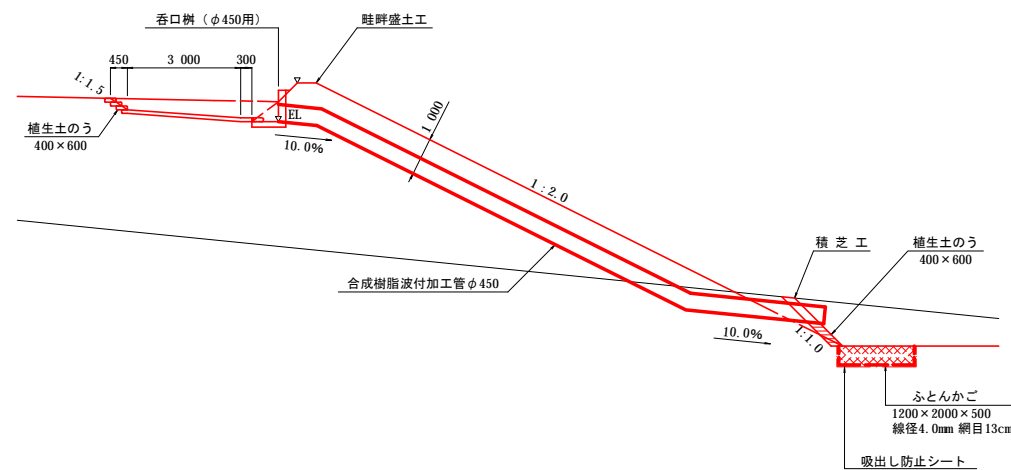
放水工標準定規図

φ450呑口 Cタイプ

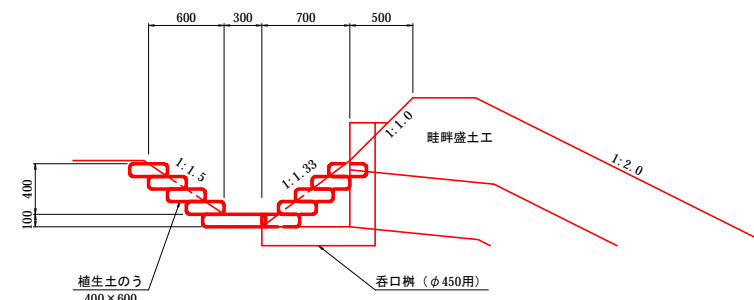
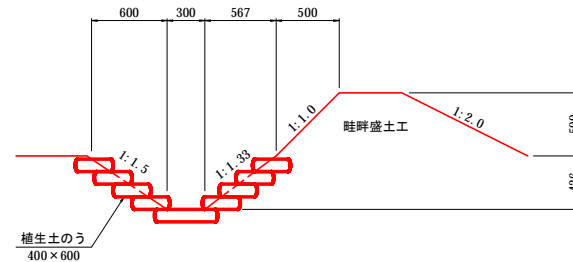
平面図
S=1:100



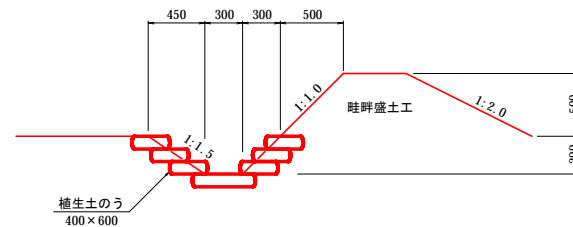
A-A断面図
S=1:100



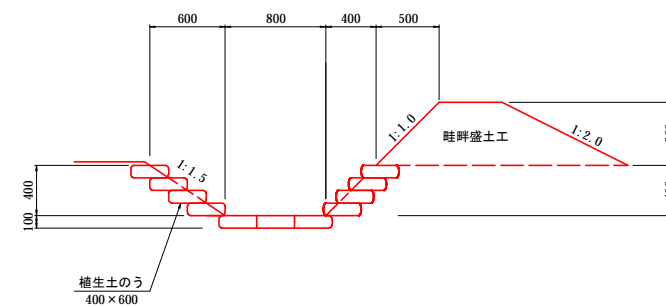
A-A断面
樹付近詳細
S=1:30



B-B断面
S=1:30

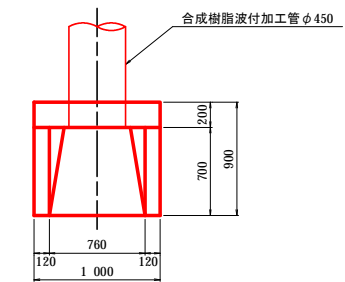


C-C断面
S=1:30

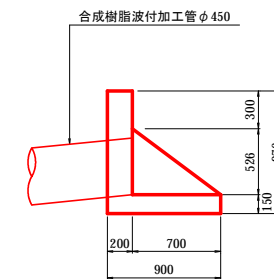


呑口樹 (φ450用) 構造図
横断用呑吐口樹φ450用
S=1:30

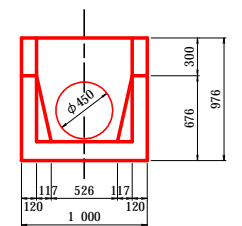
平面図



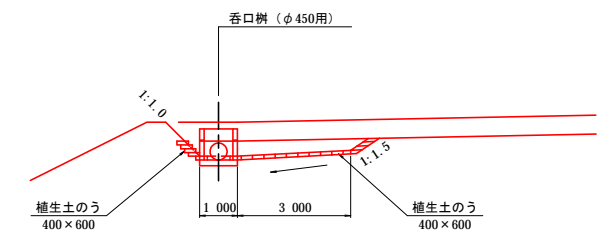
側面図



正面図



正面図
S=1:100

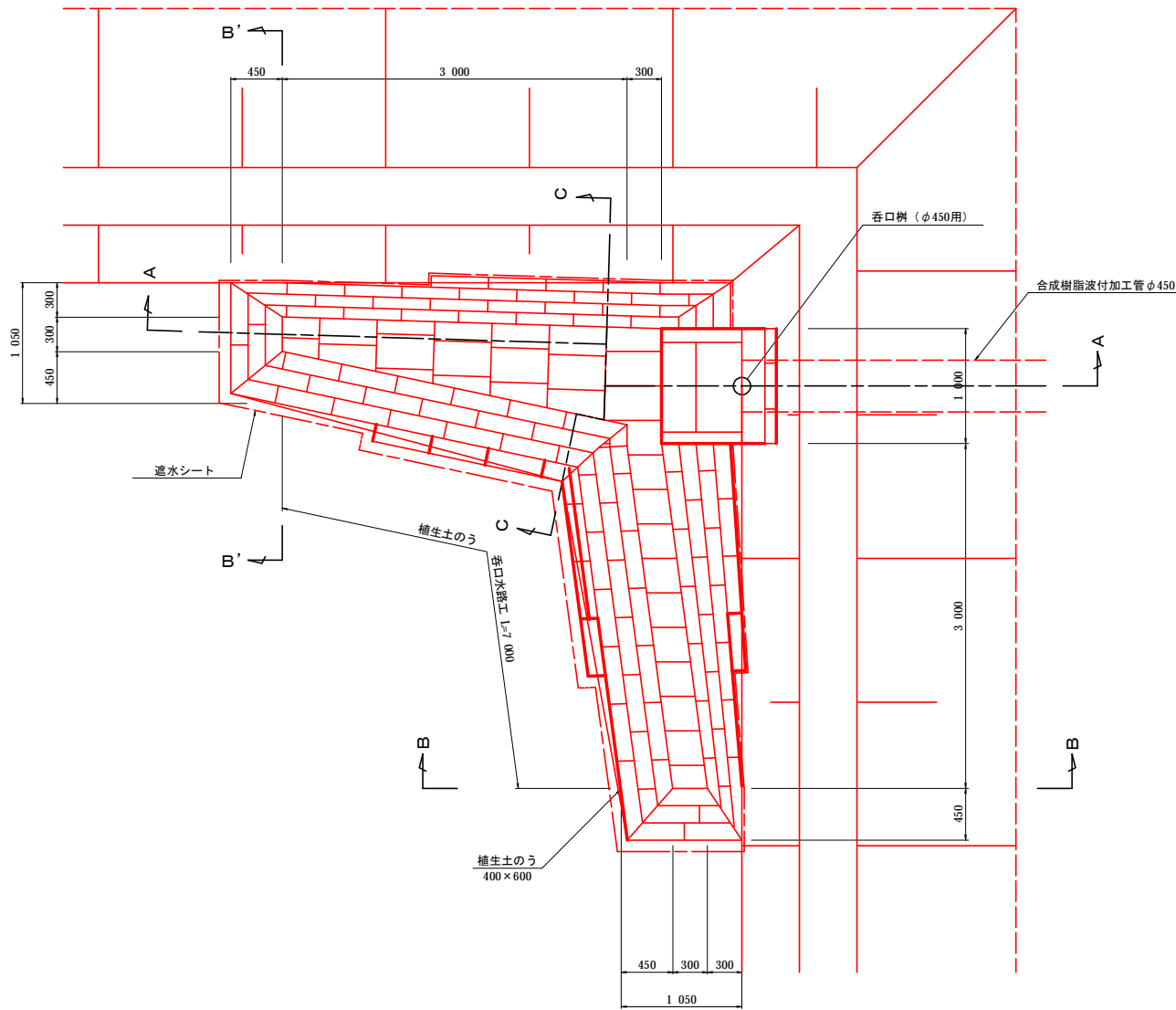


工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	放水工標準定規図 φ450呑口 Cタイプ		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O Oコンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

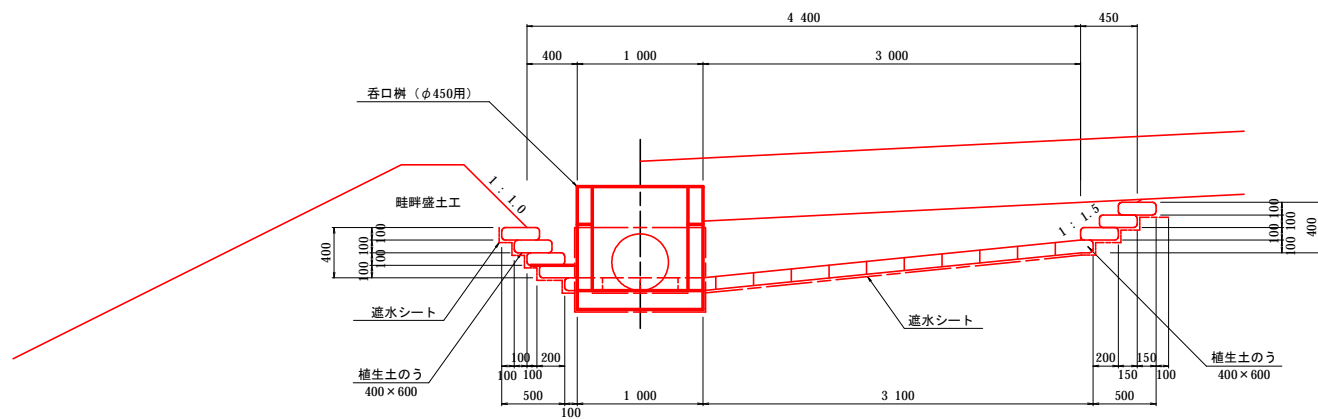
放水工遮水シート敷設図

φ450呑口 Cタイプ

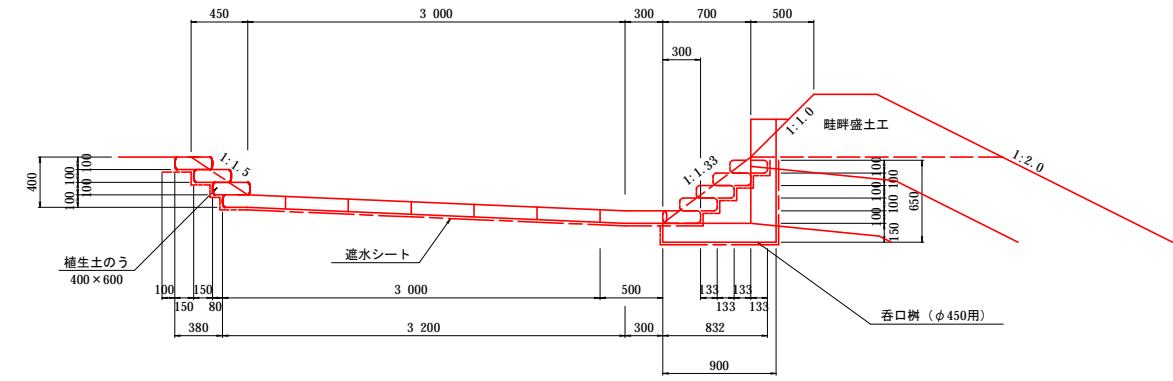
平面図
S=1:30



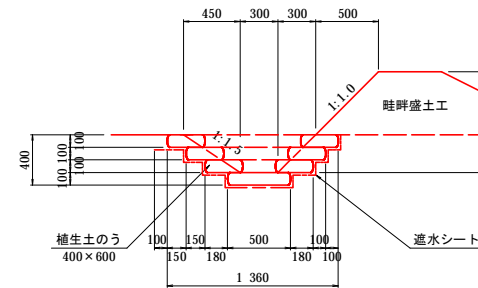
断面図
S=1:30



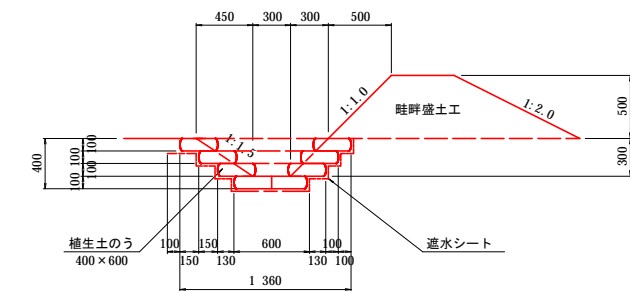
A-A断面
S=1:30



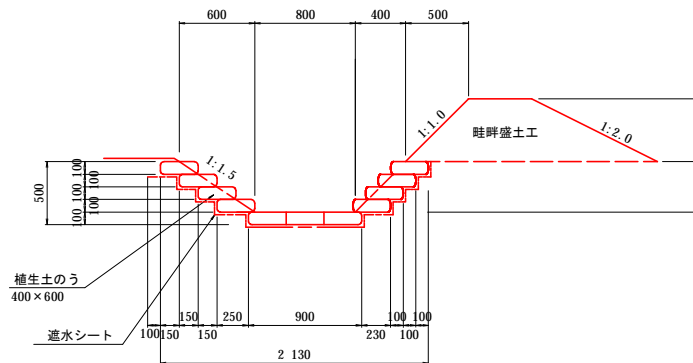
B-B断面
S=1:30



B'-B'断面
S=1:30



C-C断面
S=1:30



遮水シート面積数量表

敷設位置	計算式	面積
底面	$0.50 \times 4.2 + (0.60 + 0.90) / 2 \times 3.00$	4.35
耕地側側面	$(1.20 + 0.88) / 2 \times (3.60 + 3.10) / 2 + (1.20 + 0.83) / 2 \times (3.58 + 3.20) / 2$	6.92
法面側側面	$(1.03 + 0.78) / 2 \times (4.20 + 3.20) / 2 + (1.03 + 0.73) / 2 \times (3.80 + 4.71) / 2$	7.09
両端部	$(0.50 + 1.36) / 2 \times 0.90 + (0.60 + 1.36) / 2 \times 0.78$	1.60
呑口樹	$(0.30 + 0.15 + 0.90 + 0.65) \times 1.00 + 0.90 \times 0.65 / 2 \times 2$	2.59
合計		22.55m ²

植生土のう面積数量表

敷設位置	計算式	断面積
底面	平面積 = $0.50 \times 4.2 + (0.60 + 0.90) / 2 \times 3.00 = 4.35$ 出来上がり寸法(平面) 300×500 断面積 = $0.50 \times 0.10 \times 29$	1.45
耕地側側面	$(0.40 + 0.30) / 2 \times ((3.60 + 3.30) / 2 + (3.58 + 3.28) / 2)$	2.41
法面側側面	$(0.40 + 0.30) / 2 \times ((4.20 + 3.60) / 2 + (4.71 + 4.01) / 2)$	2.89
両端部	$(0.86 + 1.36) / 2 \times 0.30 \times 2$	0.67
合計		7.42m ²

遮水シート規格
単層 軟式塩ビ厚1.0mm 伸び率290%以上

ほ場摺り付け

※水路へ表面水を導くよう勾配を設けること。
※侵食を考慮し、植生土のうは耕地面より低くすること。

遮水シート

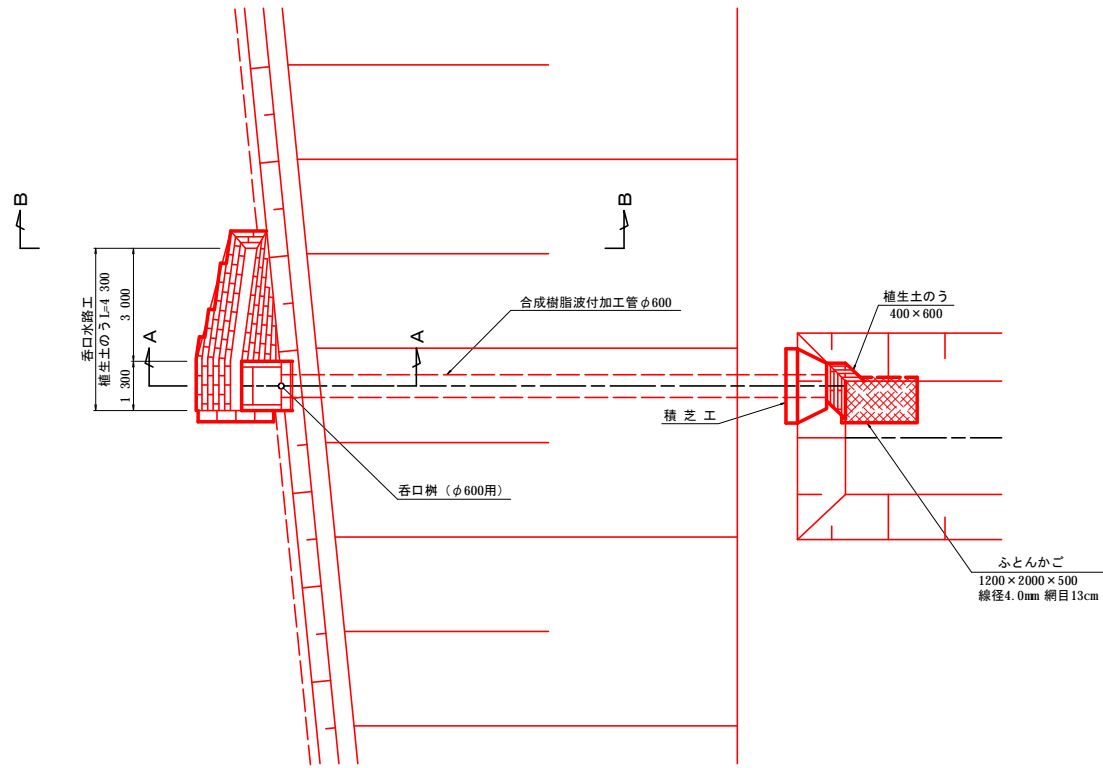
※遮水シート端部から裏側に表面水が流入しないようにすること。

工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	放水工遮水シート敷設図φ450呑口Cタイプ		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O O コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

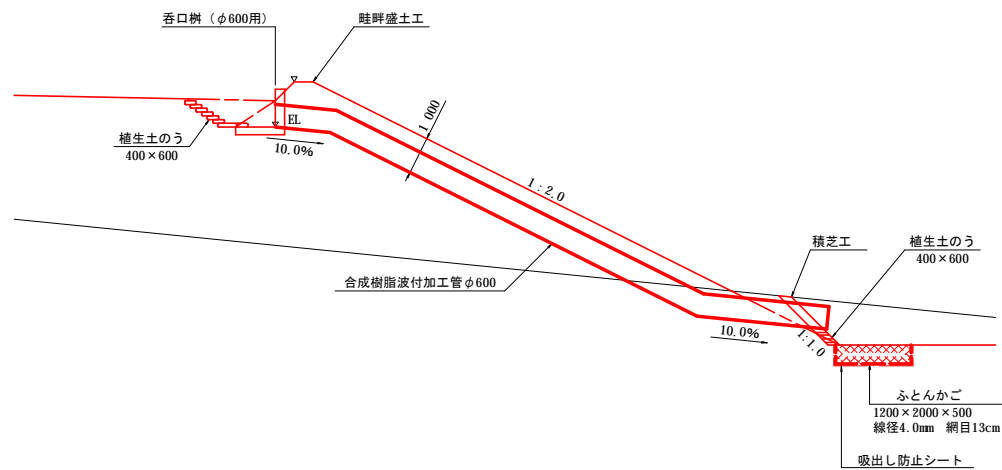
放水工標準定規図

φ600呑口 Aタイプ

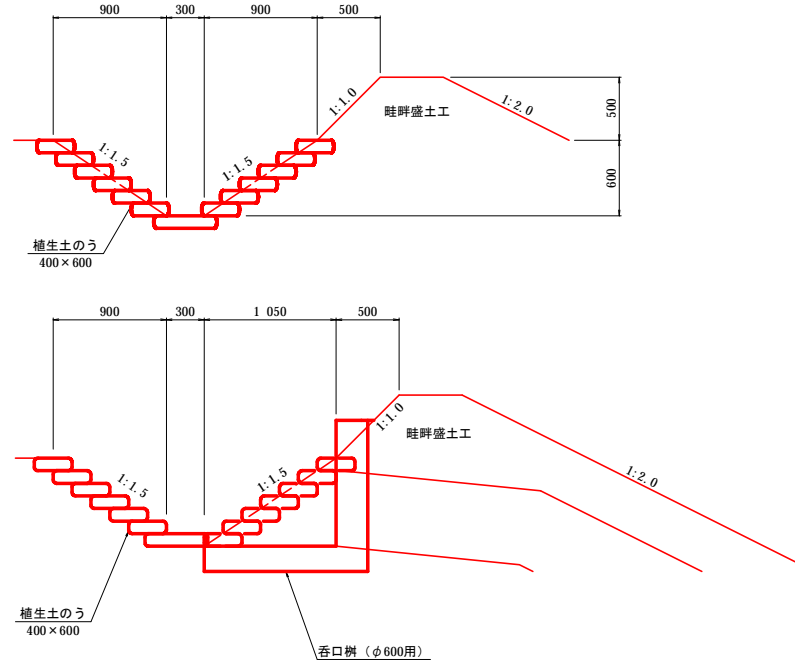
平面図
S=1:100



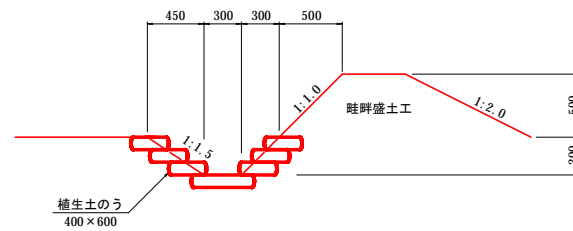
断面図
S=1:100



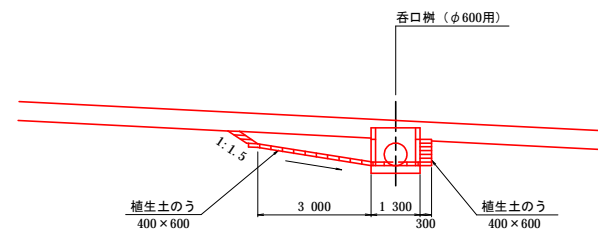
A-A断面
S=1:30



B-B断面
S=1:30

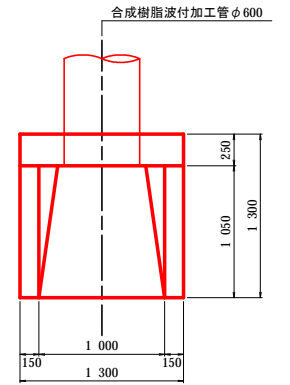


正面図
S=1:100

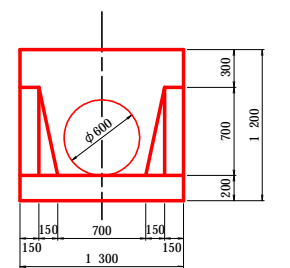


呑口樹 (φ600用) 構造図
横断用呑口樹φ600用 S=1:30

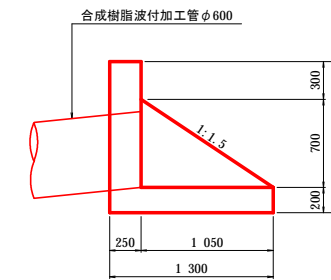
平面図



正面図



側面図

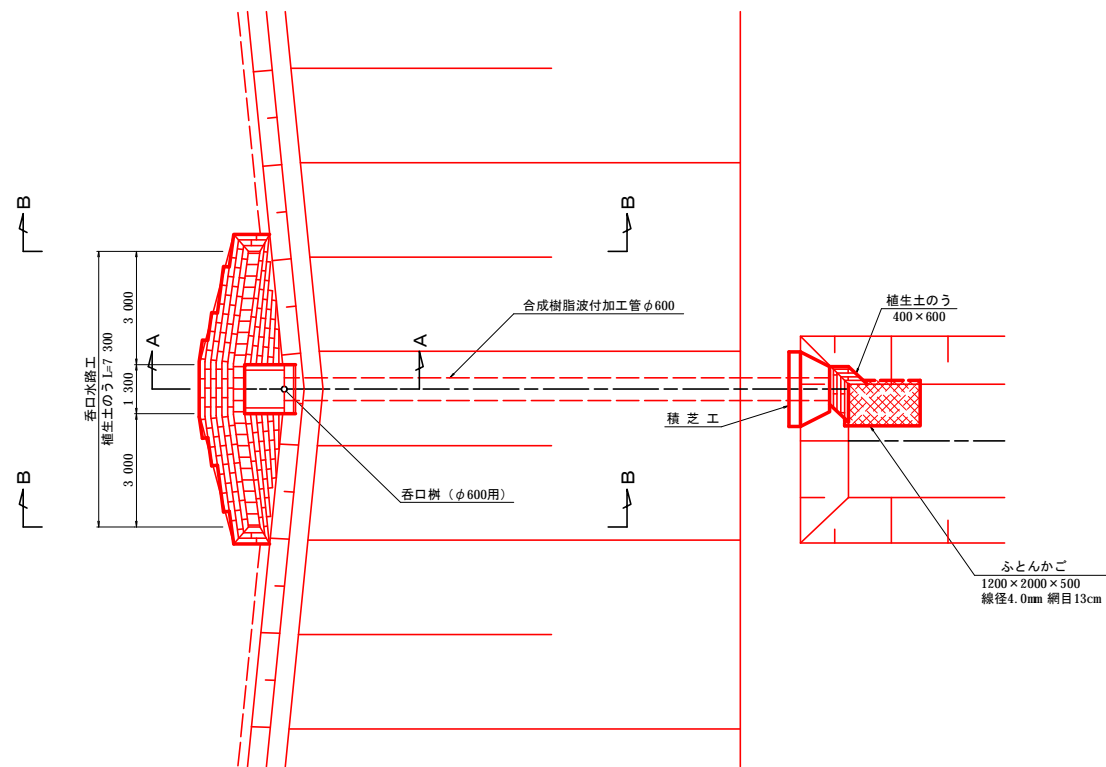


工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	放水工標準定規図φ600呑口Aタイプ		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O O コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

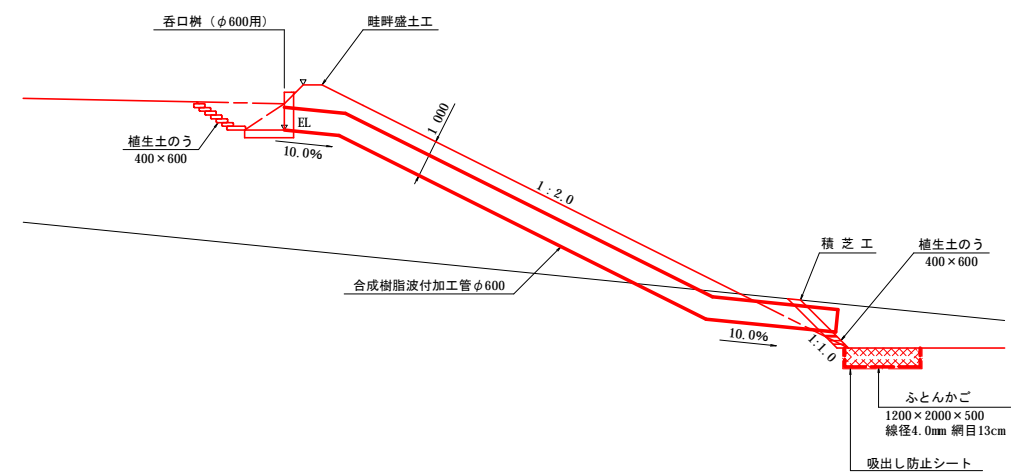
放水工標準定規図

φ600呑口 Bタイプ

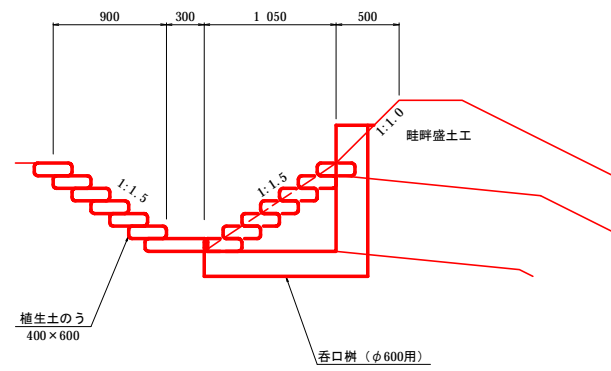
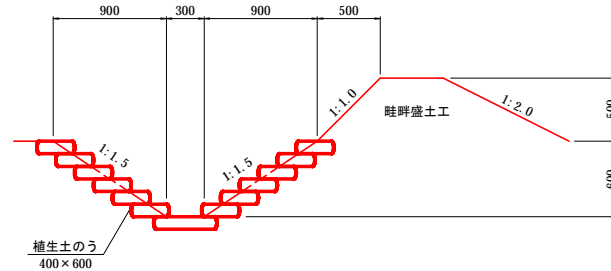
平面図
S=1:100



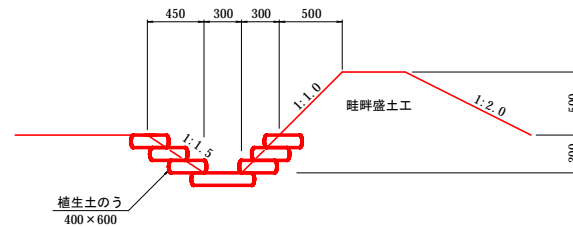
断面図
S=1:100



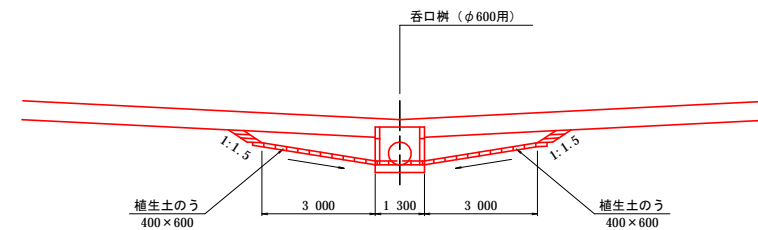
A-A断面
S=1:30



B-B断面
S=1:30

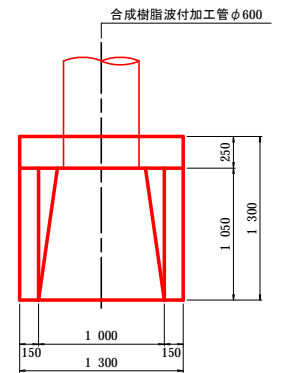


正面図
S=1:100

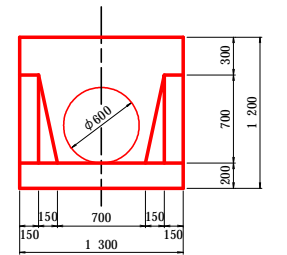


呑口樹 (φ600用) 構造図
横断面用呑口樹φ600用 S=1:30

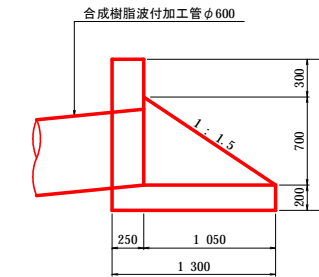
平面図



正面図



側面図

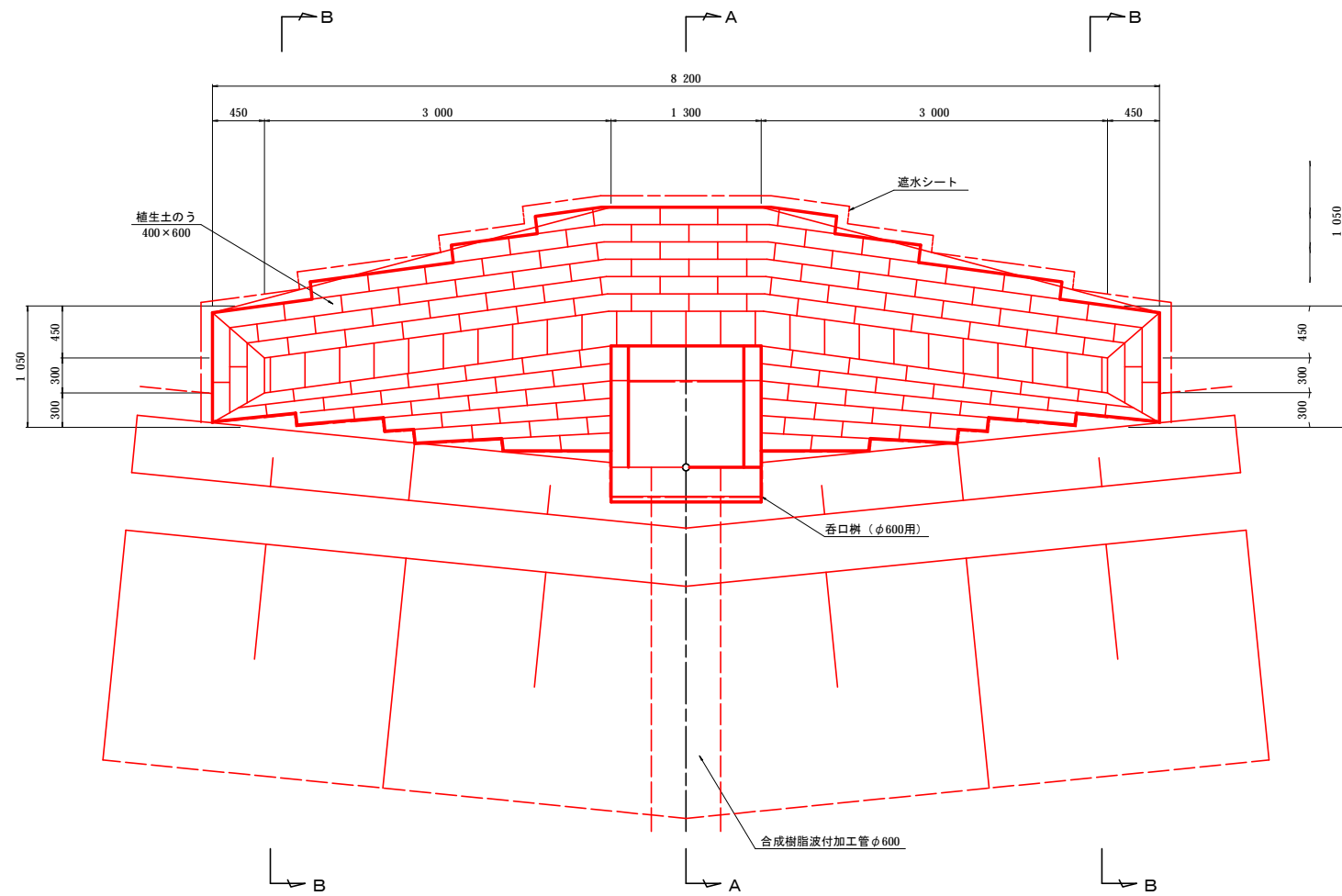


工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	放水工標準定規図φ600呑口Bタイプ		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O Oコンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

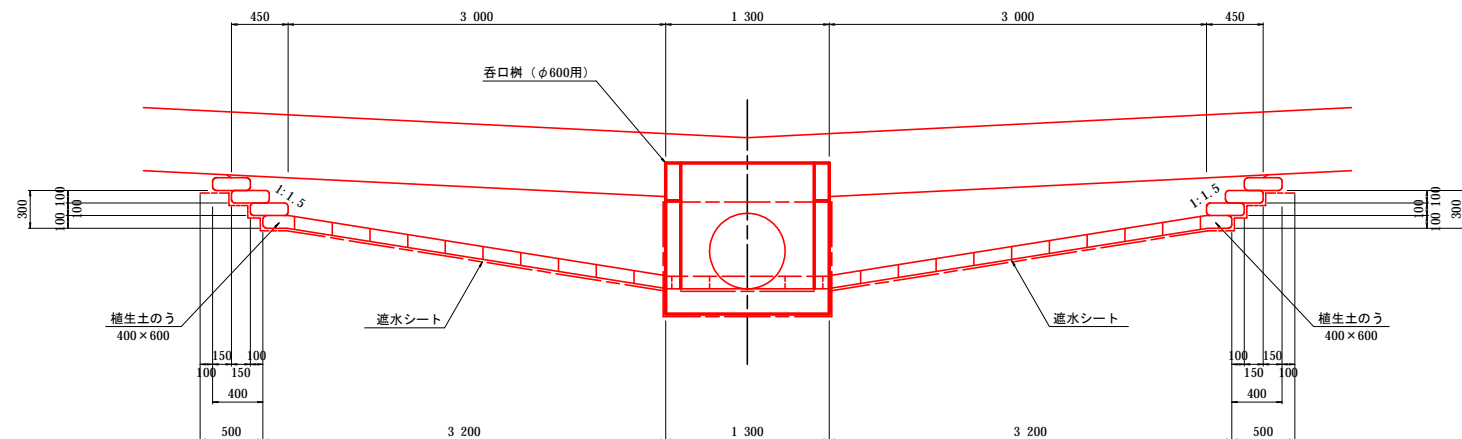
放水工遮水シート敷設図

φ600呑口 Bタイプ

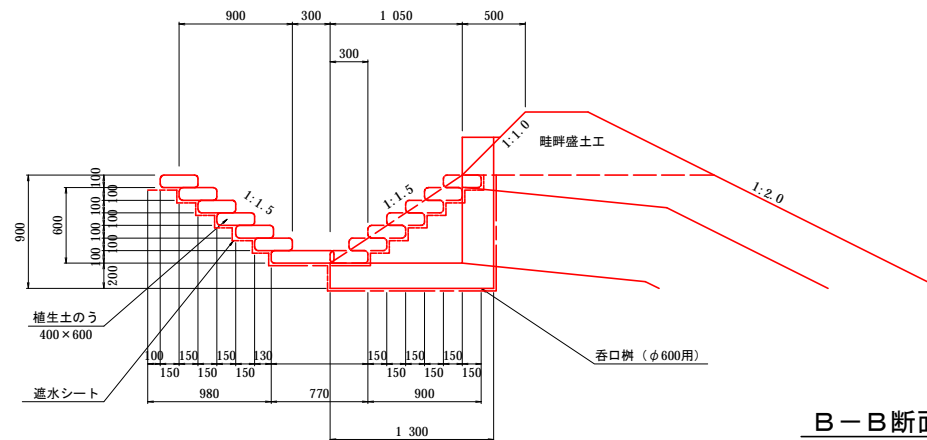
平面図
S=1:30



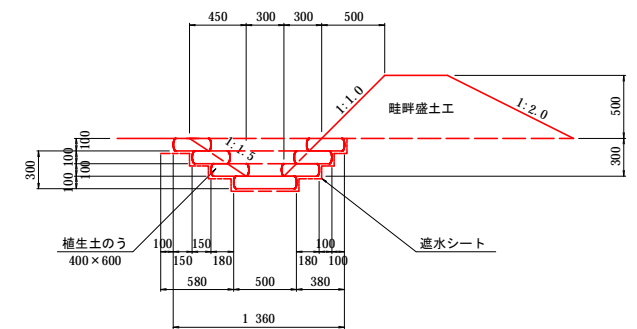
断面図
S=1:30



A-A断面
S=1:30

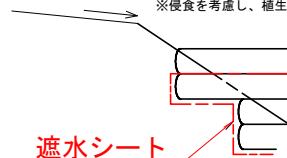


B-B断面
S=1:30



ほ場摺り付け

※水路へ表面水を導くよう勾配を設けること。
※侵食を考慮し、植生土のうは耕地面より低くすること。



※遮水シート端部から裏側に表面水が流入しないようにすること。

遮水シート面積数量表

敷設位置	計算式	面積
底面	0.50×7.7	3.85
耕地側側面	$(1.58 + 0.88) / 2 \times (3.60 + 3.20) / 2 \times 2 + 1.58 \times 1.30$	10.42
法面側側面	$(1.60 + 0.78) / 2 \times (3.60 + 3.20) / 2 \times 2$	8.09
両端部	$(0.50 + 1.36) / 2 \times 0.80 \times 2$	1.49
呑口柵	$(0.30 + 0.20 + 1.30 + 0.90) \times 1.30 + 1.30 \times 0.90 / 2 \times 2$	4.68
合計		28.53m ²

植生土のう面積数量表

敷設位置	計算式	断面積
底面	平面積 = $0.50 \times 7.7 = 3.85$ $3.85 / (0.30 \times 0.50) = 26$ 袋 出来上がり寸法(平面) 300×500 断面積 = $0.50 \times 0.10 \times 26$	1.30
耕地側側面	$(0.60 + 0.30) / 2 \times (3.60 + 3.20) / 2 \times 2 + 0.60 \times 1.30$	3.89
法面側側面	$(0.60 + 0.30) / 2 \times (3.60 + 3.20) / 2 \times 2$	3.11
両端部	$(0.86 + 1.36) / 2 \times 0.30 \times 2$	0.67
合計		8.97m ²

遮水シート規格

単層 軟式塩ビ厚1.0mm 伸び率290%以上

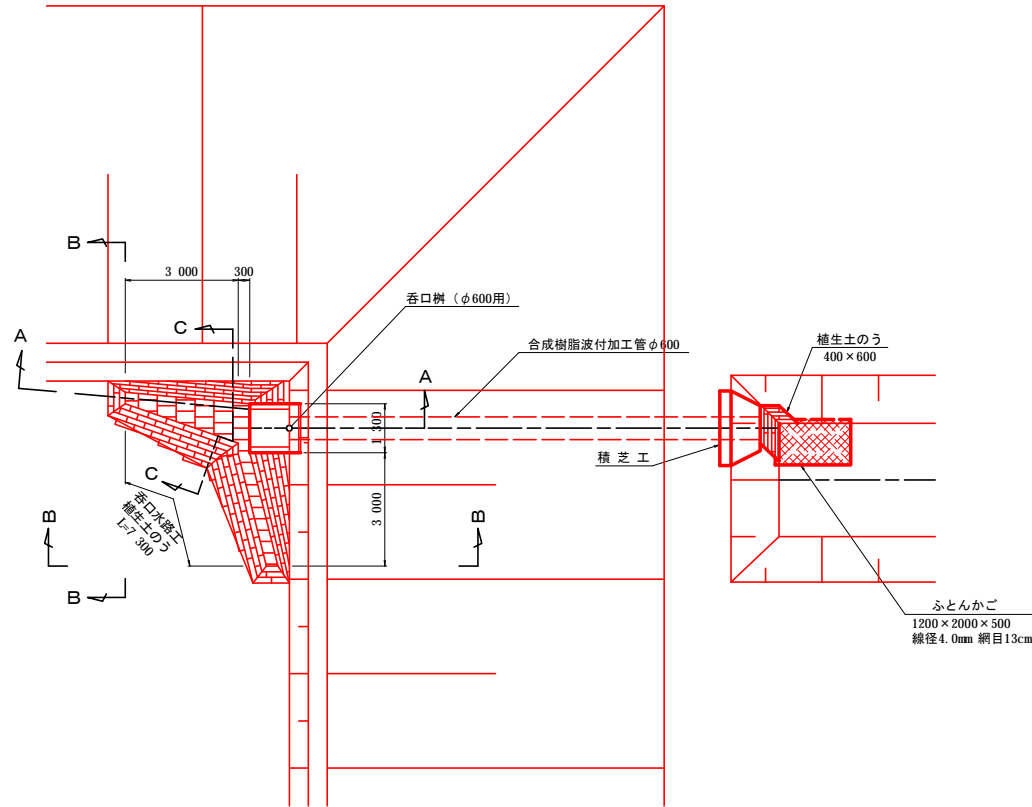
工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	放水工遮水シート敷設図 φ600呑口 Bタイプ		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O O コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

放水工標準定規図

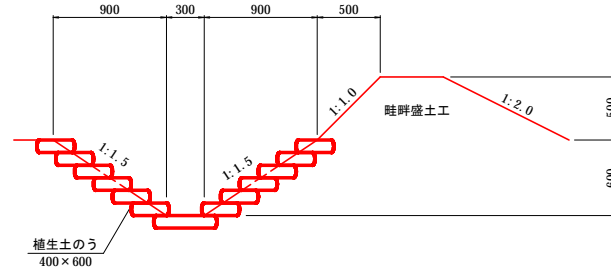
φ600呑口 Cタイプ

呑口柵 (φ600用) 構造図
横断用呑吐口柵φ600用 S=1:30

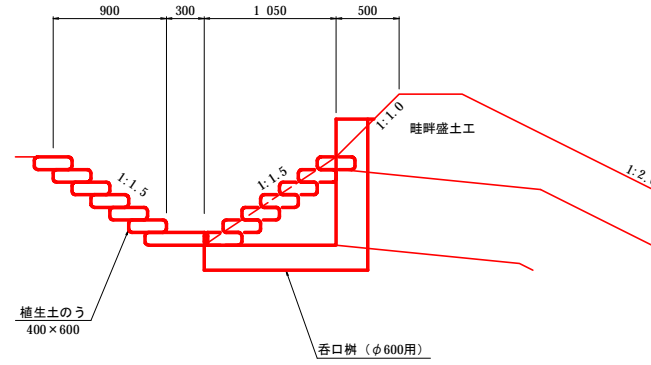
平面図
S=1:100



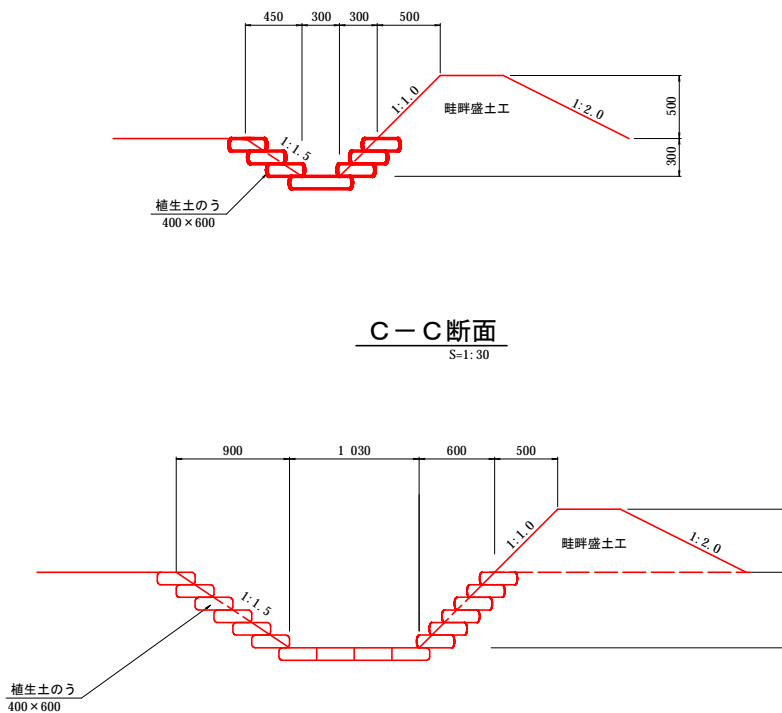
A-A断面
柵付近詳細 S=1:30



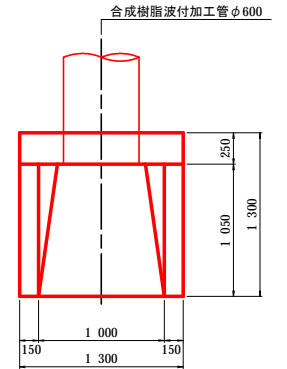
B-B断面
S=1:30



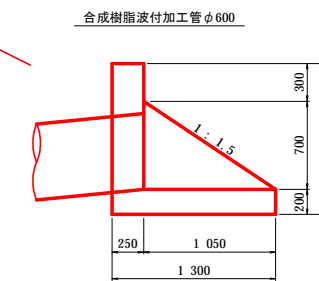
C-C断面
S=1:30



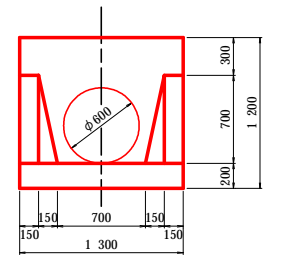
平面図



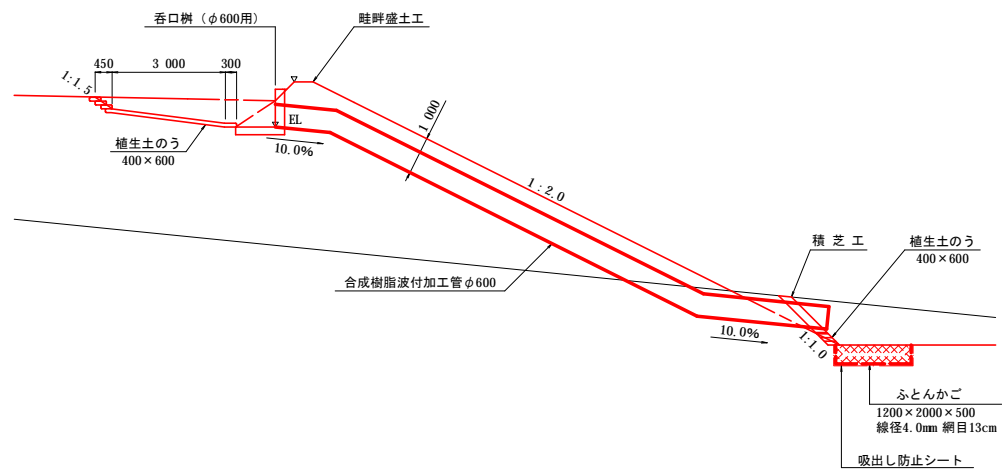
側面図



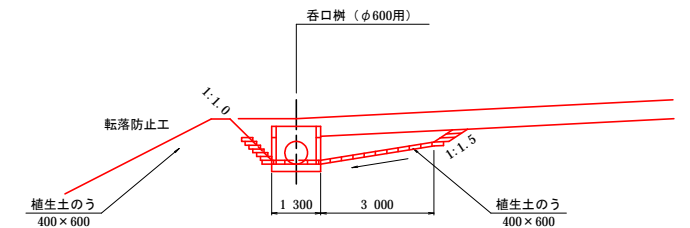
正面図



A-A断面図
S=1:100



正面図
S=1:100

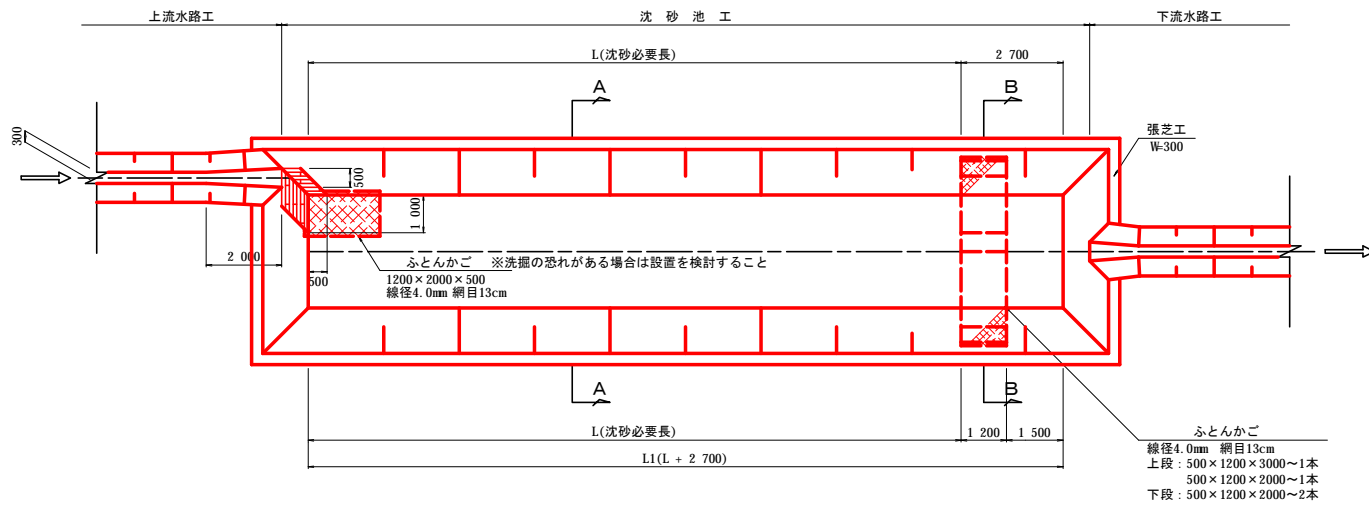


工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	放水工標準定規図φ600呑口Cタイプ		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O O コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

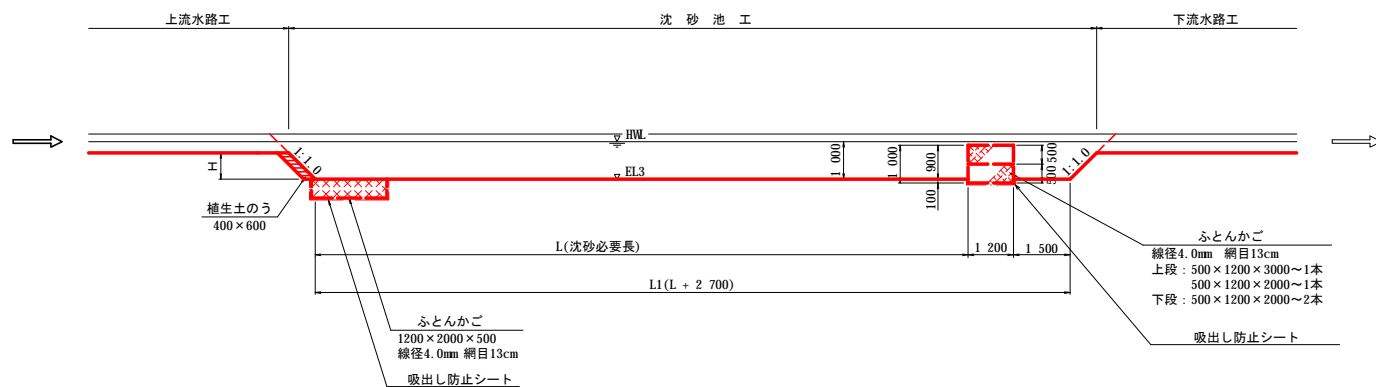
沈砂池工標準図

放流型

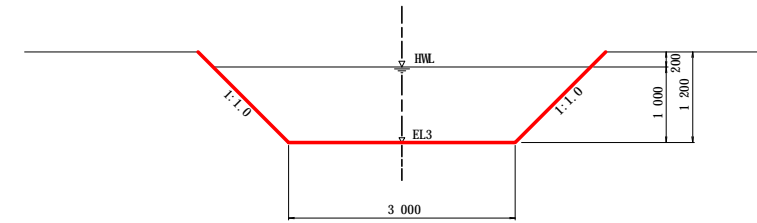
平面図
S=1:100



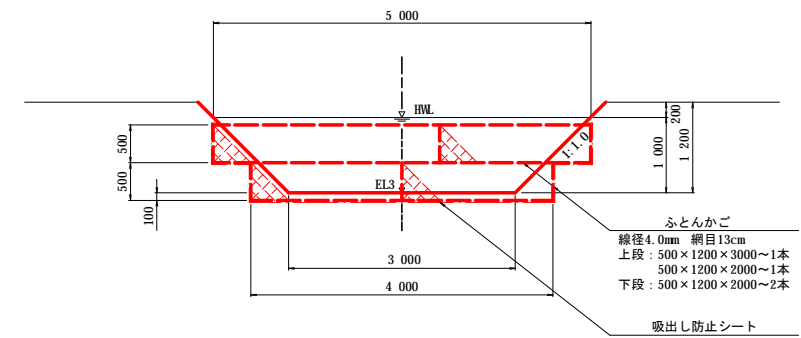
側面図
S=1:100



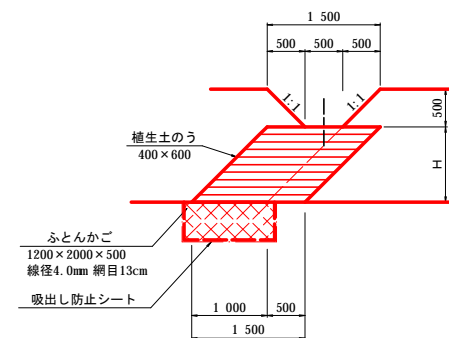
A-A断面
S=1:50



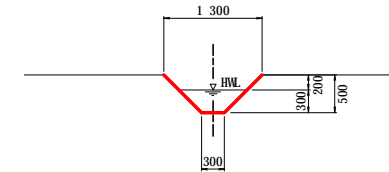
B-B断面
S=1:50



植生土のう正面図
張芝側溝 S=1:50



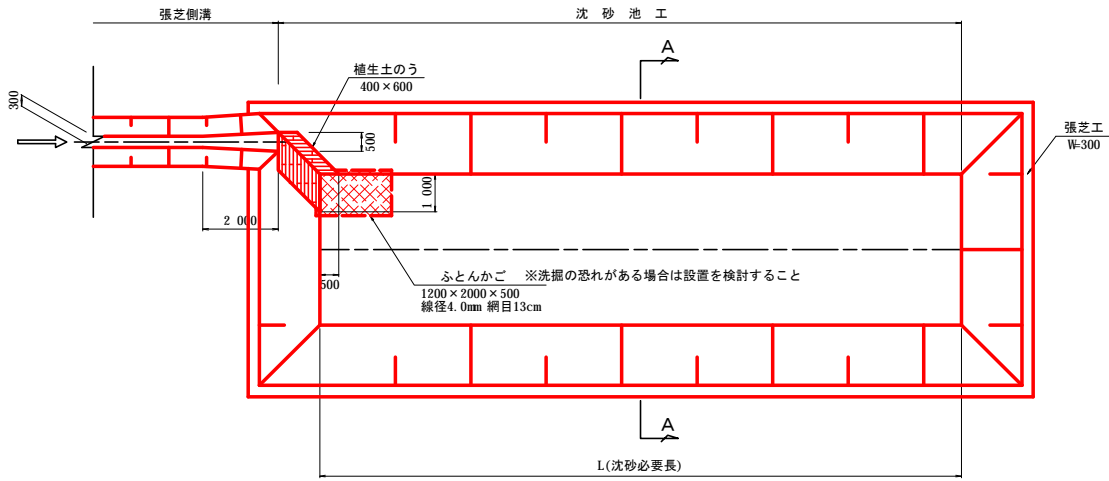
上下流水路断面図
張芝装工 S=1:50



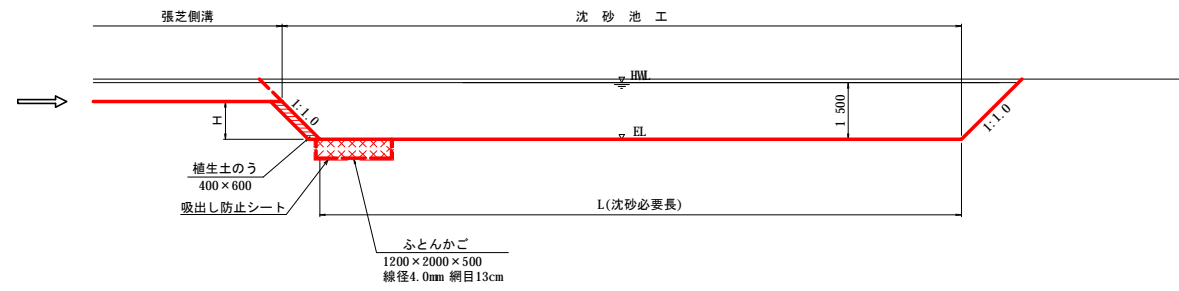
工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区 調査設計 1		
図面名	沈砂池[放流型]標準定規図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O O コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

張芝側溝接続タイプ

平面図

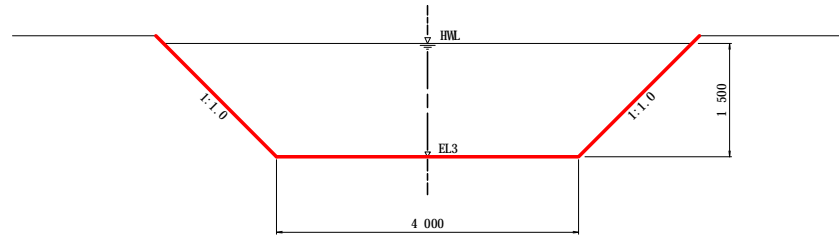


側面図



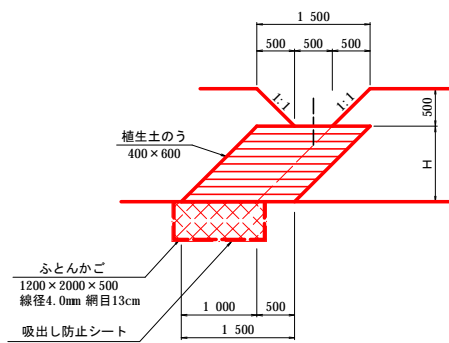
A-A断面

S=1:50



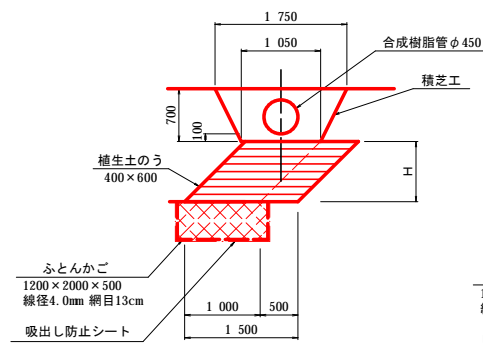
植生土のう正面図

張芝側溝 S=1:50



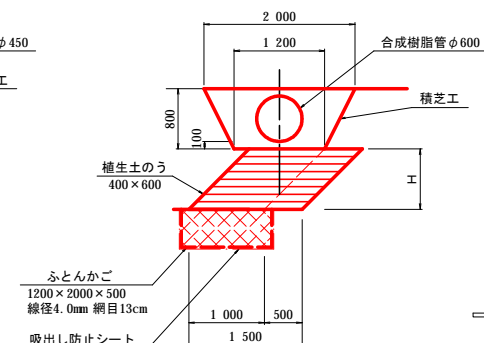
植生土のう正面図

合成樹脂管φ450 S=1:50



植生土のう正面図

合成樹脂管φ600 S=1:50



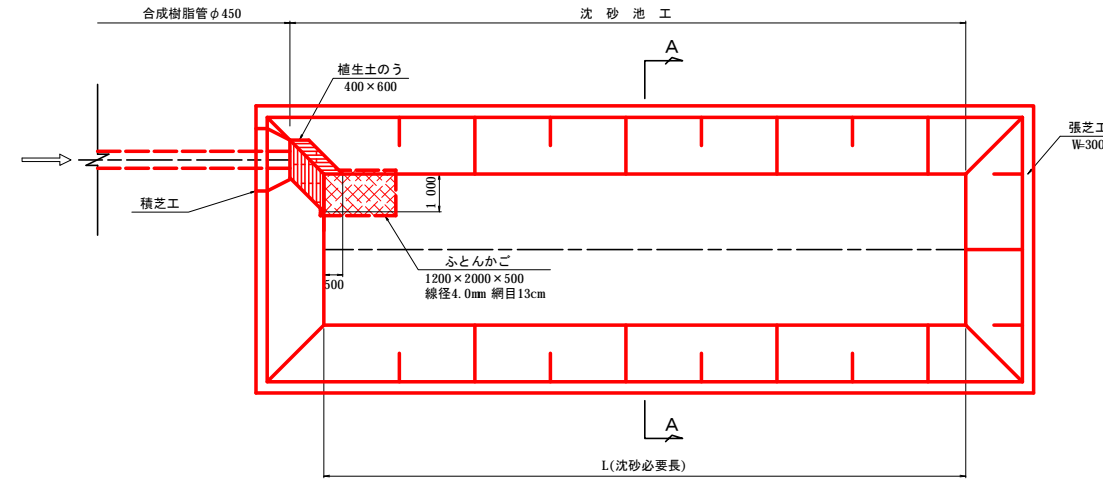
沈砂池工標準図

浸透型 S=1:100

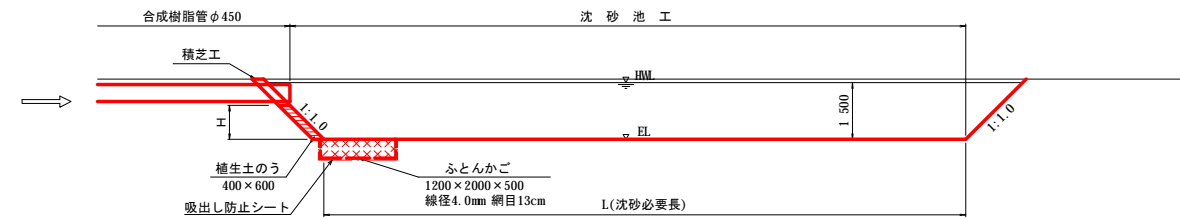
合成樹脂管接続タイプ

φ450

平面図



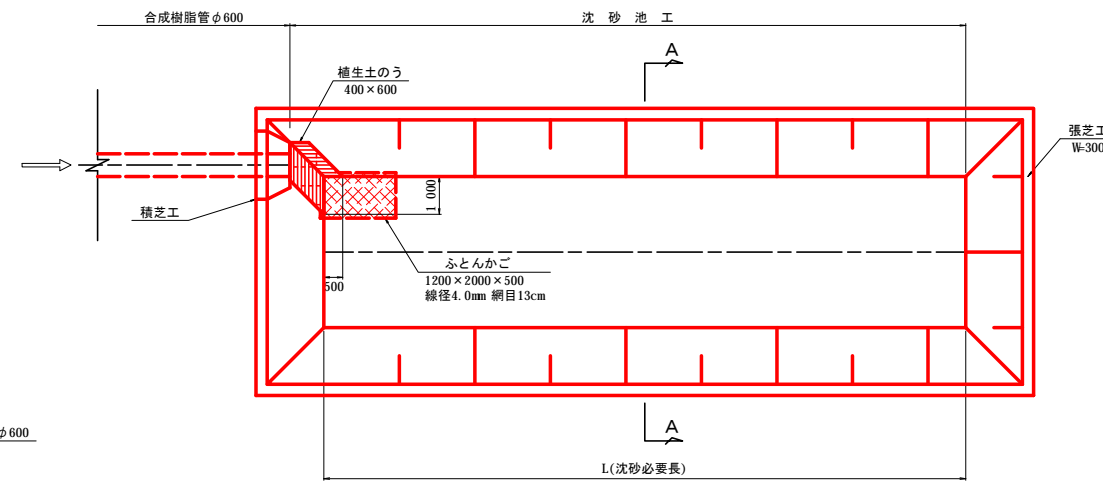
側面図



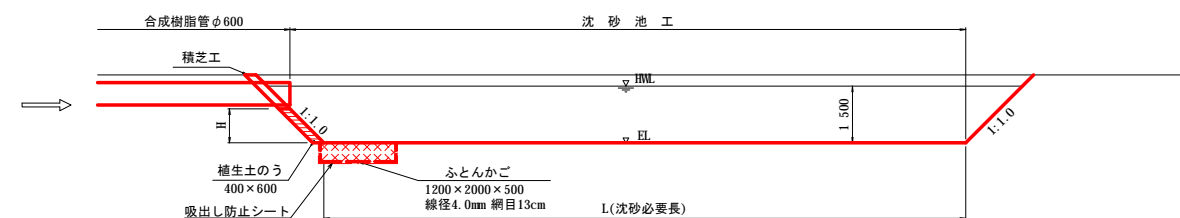
合成樹脂管接続タイプ

φ600

平面図



側面図



工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	沈砂池[浸透型]標準定規図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 O O コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

沈砂池防護柵標準図

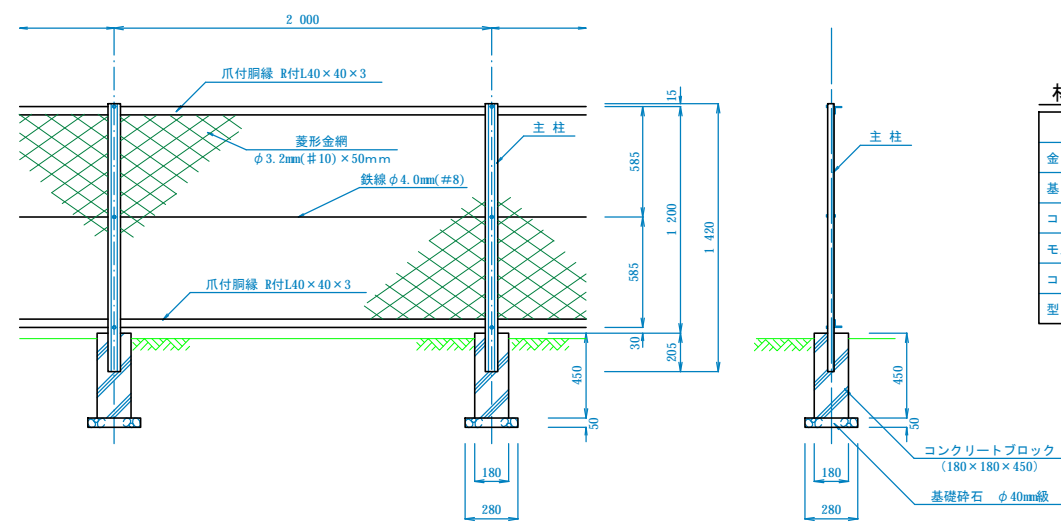
金網柵型

フェンス (H=1.20)
S=1:40

フェンス門扉 (H=1.20 W=0.75)
S=1:40

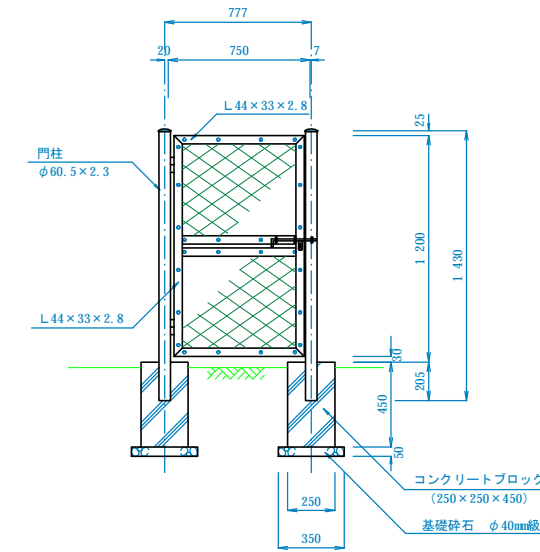
正面図

側面図



材料表 (100m当り)

品名	形状寸法	数量	単位	摘要
金網柵	主柱間隔 2.000	100	m	塗装品 (V-GS2)
基礎碎石	φ40mm級	0.2	m ³	
コンクリート	BB182B	-	"	
モルタル	1:3	0.1	"	
コンクリートブロック	180×180×450	51.0	個	
型枠	E	-	m ²	

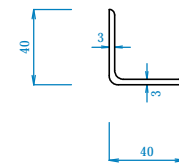
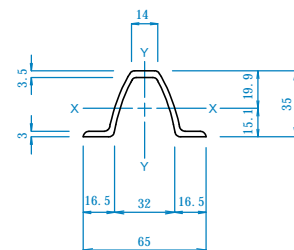


材料表 (100箇所当り)

品名	形状寸法	数量	単位	摘要
フェンス門扉	H=1.200, W=0.750	100	基	塗装品 (V-GS2)
基礎碎石	φ40mm級	1.2	m ³	
コンクリート	BB182B	-	"	
モルタル	1:3	0.2	"	
コンクリートブロック	250×250×450	200	個	
型枠	E	-	m ²	

主柱断面図
S=1:4

胴縁断面図
S=1:4



工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区調査設計1		
図面名	沈砂池防護柵標準図~1 金網柵型		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

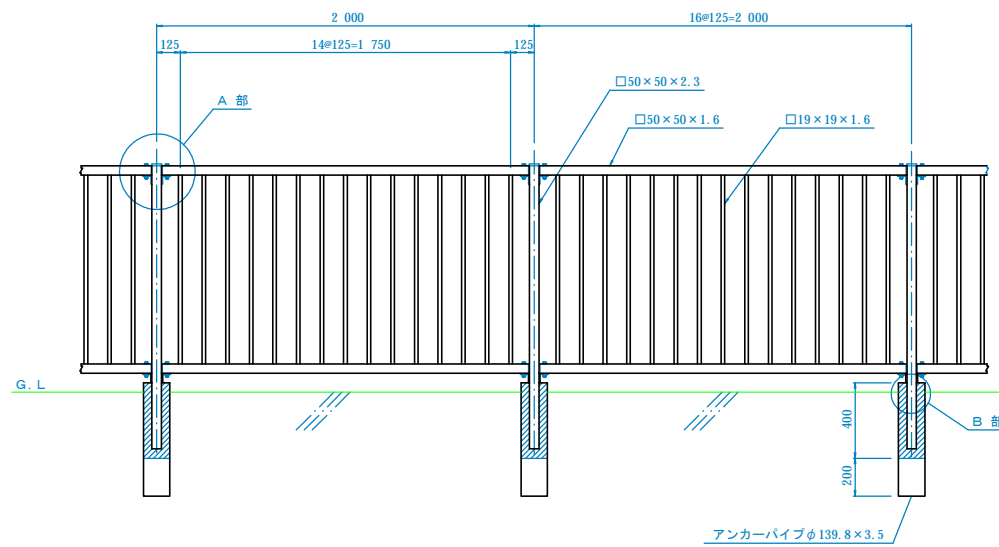
沈砂池防護柵標準図

格子フェンス型

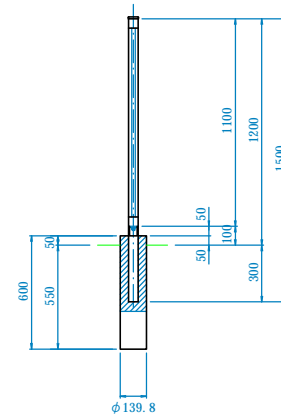
平面図
S=1/40



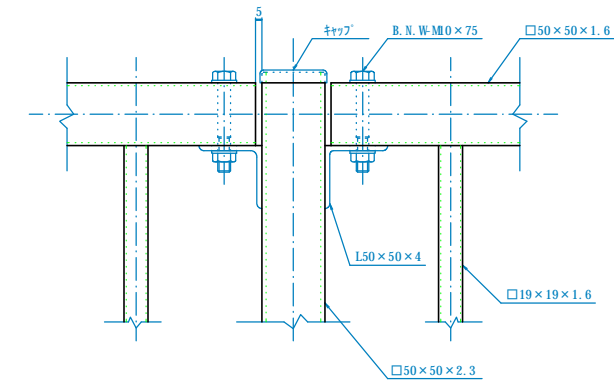
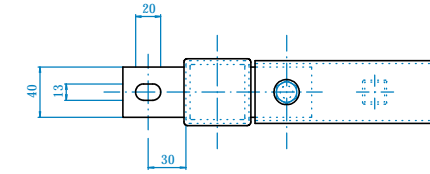
立面図
S=1/40



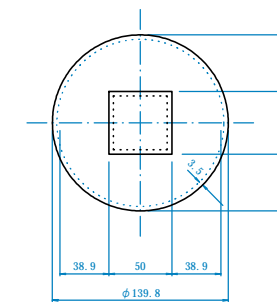
側面図
S=1/40



A 詳細図
S=1:6



B 詳細図
S=1:6



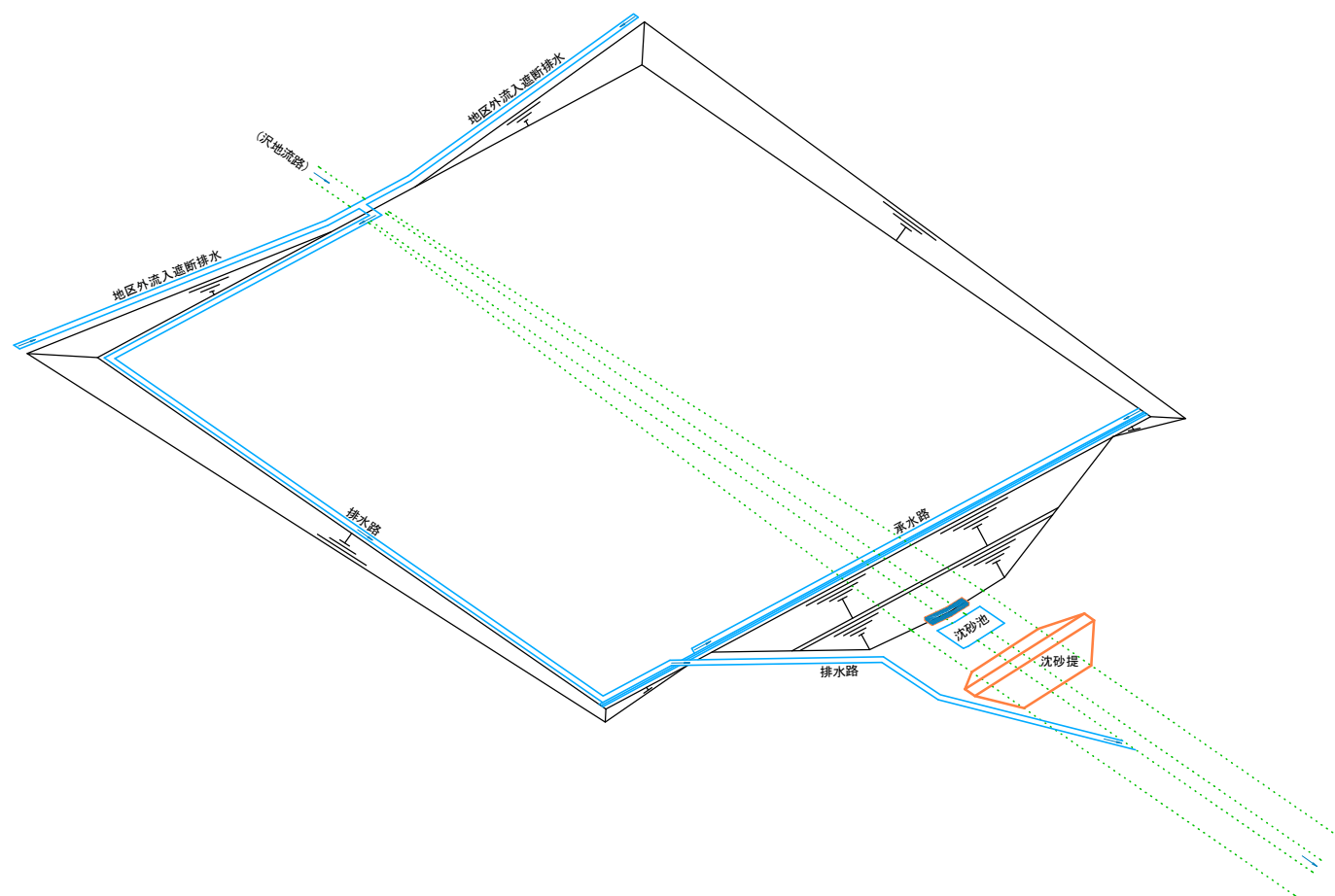
表面処理仕様

(フェンス)
溶融亜鉛めっき (275g/m²以上) とし
塗装はポリエチレン樹脂粉体塗装200μ
以上とする。

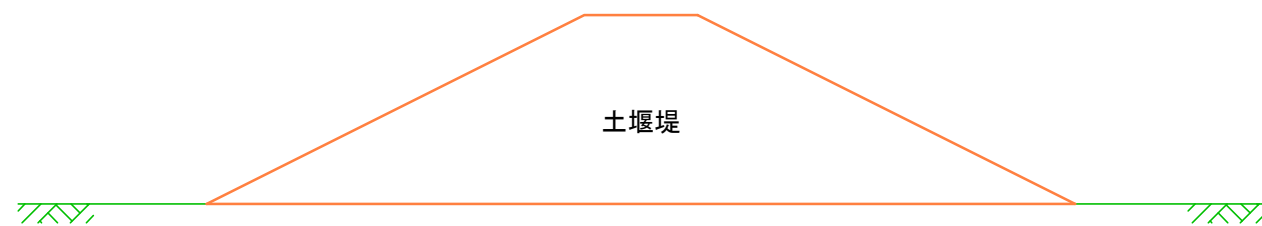
(アンカーパイプ)
天端部より100mmまでポリウレタン樹脂
1回塗りとする。

工事名	畑地帯(育成) オホーツク東部地区 調査設計1		
図面名	沈砂池防護柵標準図 ~ 2 格子フェンス型		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

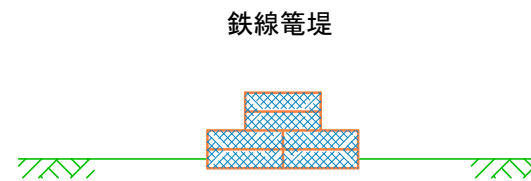
沈砂提 基本計画イメージ図



沈砂堤は「土堰堤」や「鉄線籠堤」などが考えられる。



※ 湖沼浚渫底質土の固化処理材料利用等



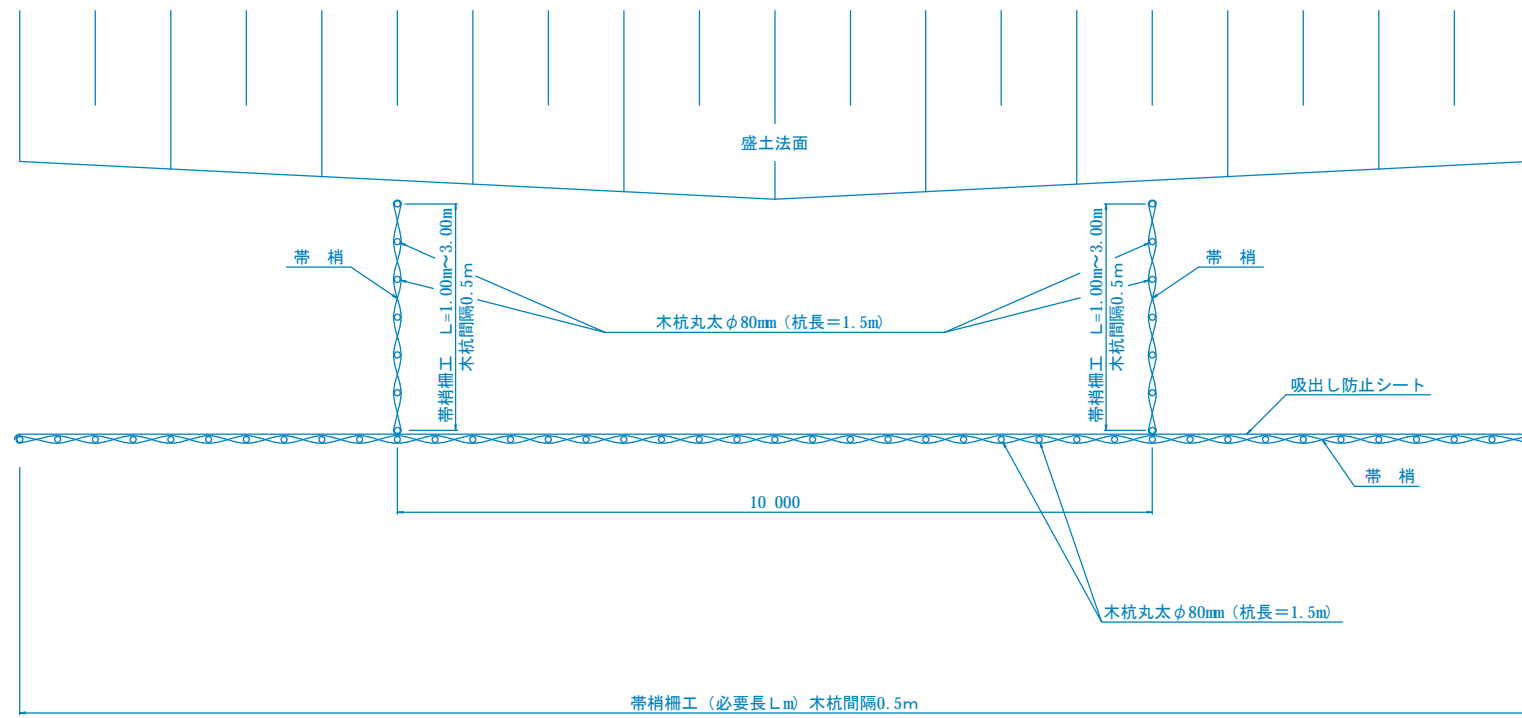
工事名	畑地帯(育成) オホーツク東部地区 調査設計 1		
図面名	沈砂提 基本計画イメージ図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

帯梢柵工（参考図）

土砂流出防止仮設工

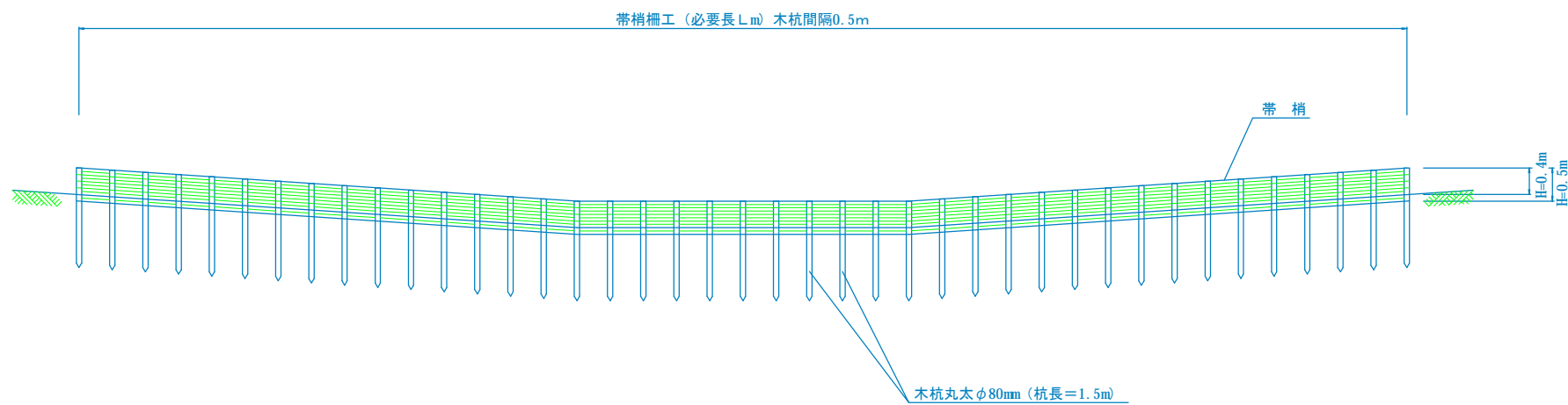
平面図

S=1/100



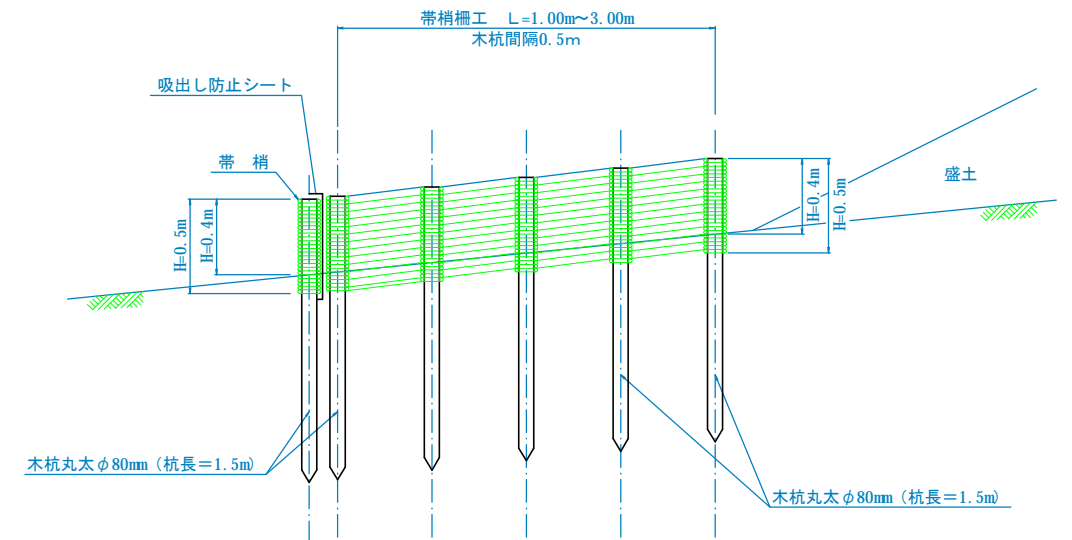
正面図

S=1/100



側面図

S=1/40



施工中及び法面植生未熟期間の土砂流出防止について

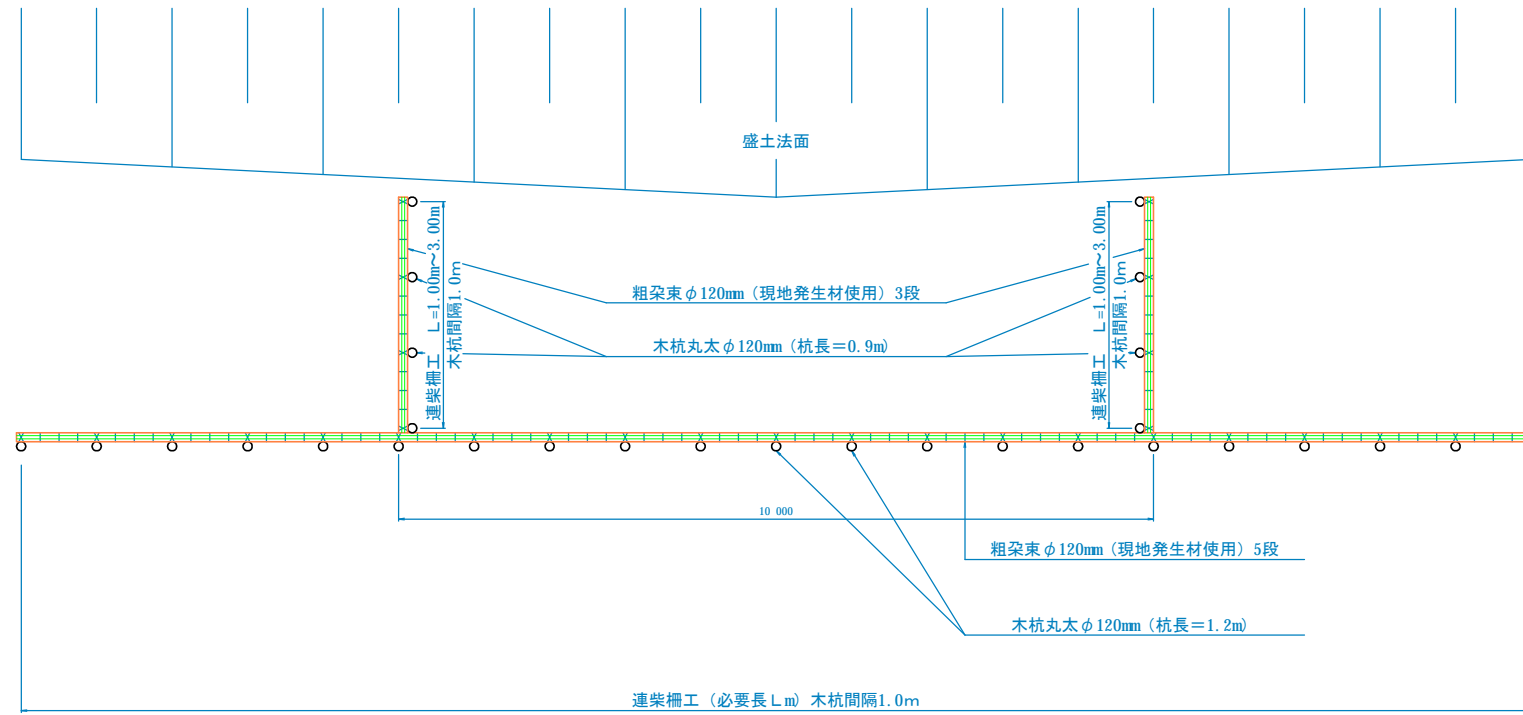
- 施工中の沈砂池規模
 施工中の沈砂池規模は、 $V = 50m^3/1ha$ 程度を標準とする。
- 本設沈砂池及び仮設沈砂池の基本配置
 施工当初に本設沈砂池を設置し、運土施工中の現況地形流末位置には、集水面積に応じた規模の仮設沈砂池を配置することが望ましい。
- 長大盛土法面の雨水浸食土砂の流出防止対策
 盛土法面植生の未熟期間の雨水浸食による小規模の土砂流出防止対策として、帯梢柵工（参考図）を検討した。
 ※ 法止めとして土圧に対抗する構造ではない。
 ※ 柵工と法尻の間に設置する仕切りは、地形成りに高さ40cm程度で設置するため、捕捉した土砂の谷線底部への流動・集中を抑制するためである。

工事名	畑地帯（育成） オホーツク東部地区 調査設計 1		
図面名	帯梢柵工（参考図） 土砂流出防止仮設工		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

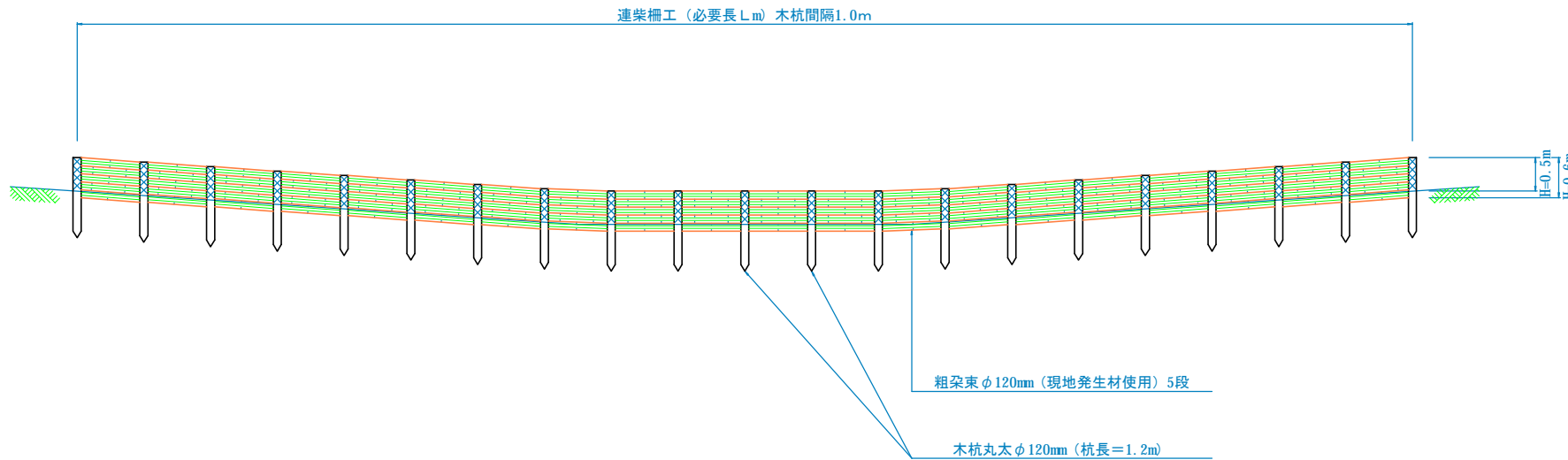
連柴柵工（参考図）

土砂流出防止仮設工

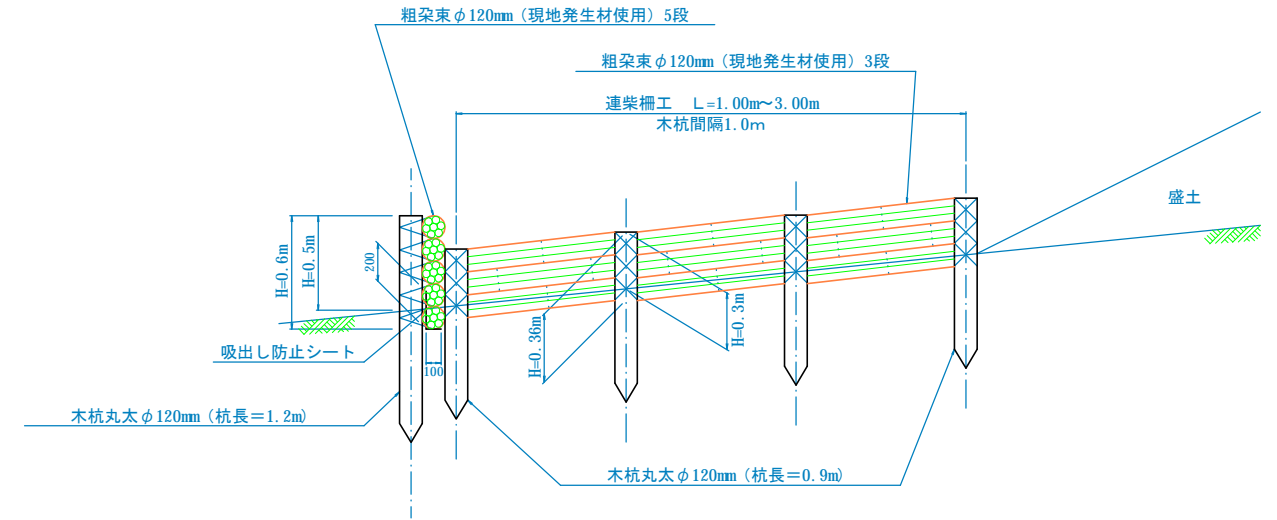
平面図
S=1/100



正面図
S=1/100



側面図
S=1/40



施工中及び法面植生未熟期間の土砂流出防止について

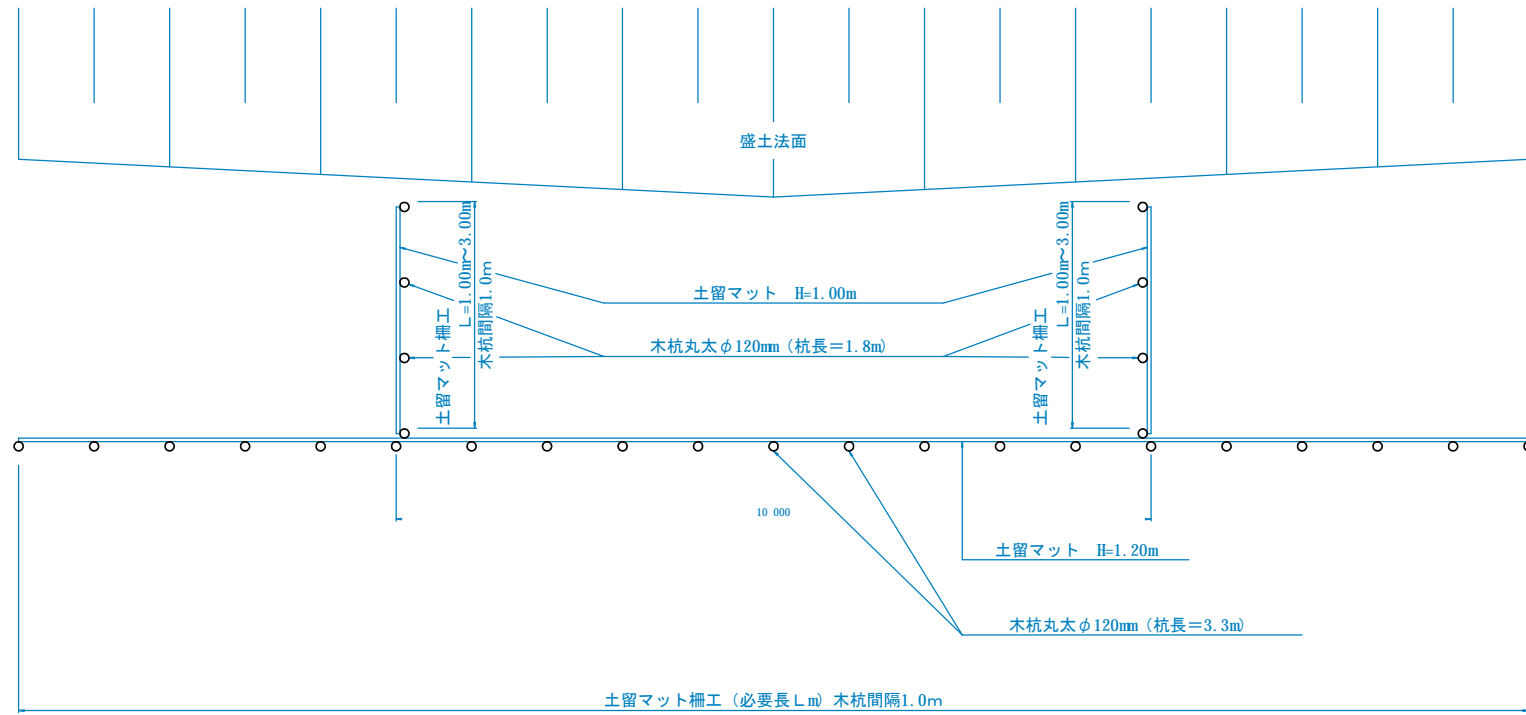
- 施工中の沈砂池規模
 施工中の沈砂池規模は、 $V=50\text{m}^3/1\text{ha}$ 程度を標準とする。
- 本設沈砂池及び仮設沈砂池の基本配置
 施工当初に本設沈砂池を設置し、運土施工中の現況地形流末位置には、集水面積に応じた規模の仮設沈砂池を配置することが望ましい。
- 長大盛土法面の雨水浸食土砂の流出対策
 盛土法面植生の未熟期間の雨水浸食による小規模の土砂流出防止対策として、現地発生材による連柴柵工（参考図）を検討した。
 ※ 法止めとして土圧に対抗する構造ではない。
 ※ 柵工と法尻の間に設置する仕切りは、地形成りに高さ50cm程度で設置し、捕捉した土砂の谷線底部への流動・集中を抑制するためである。

工事名	畑地帯（育成） オホーツク東部地区 調査設計 1		
図面名	連柴柵工（参考図） 土砂流出防止仮設工		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

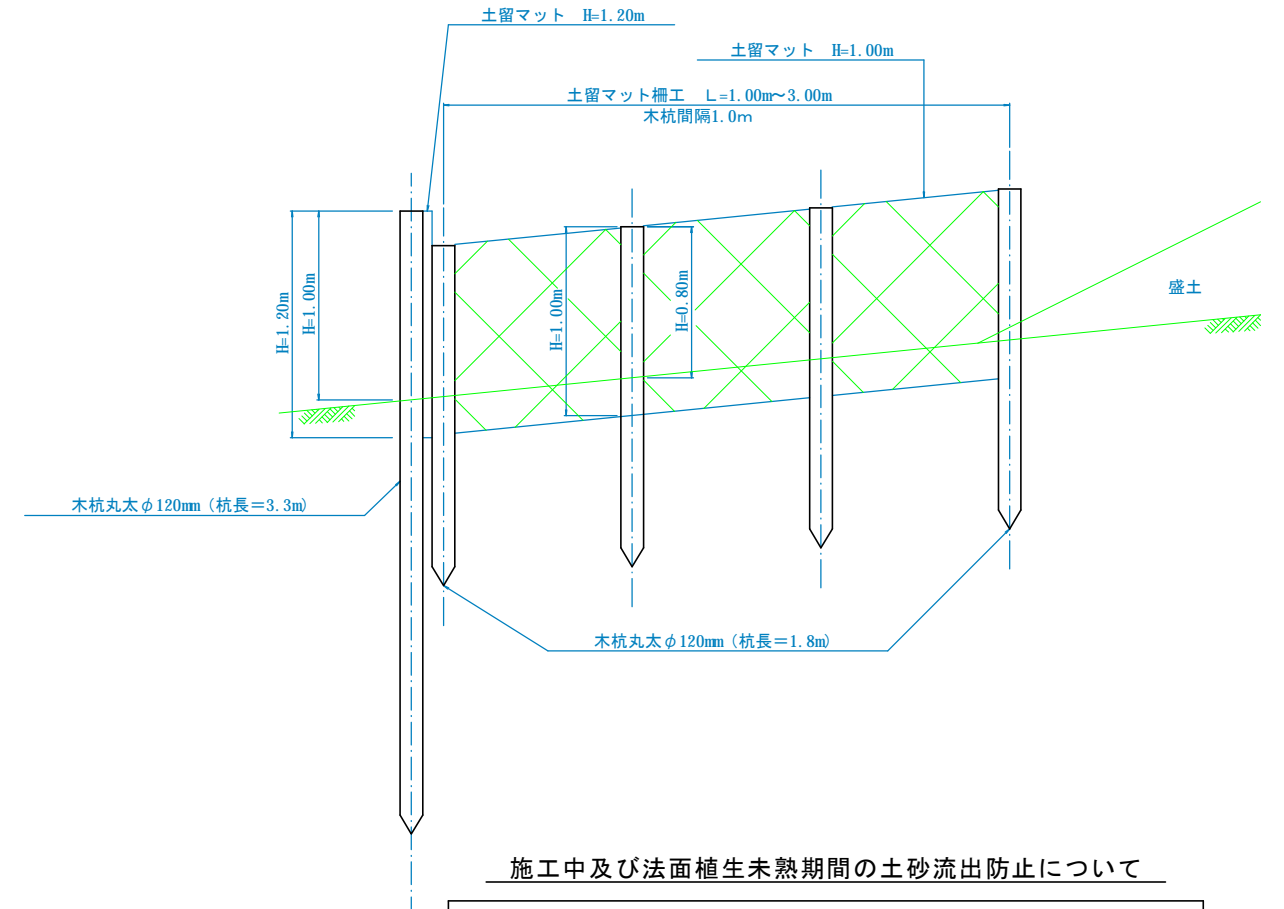
土留マット柵工（参考図）

土砂流出防止仮設工

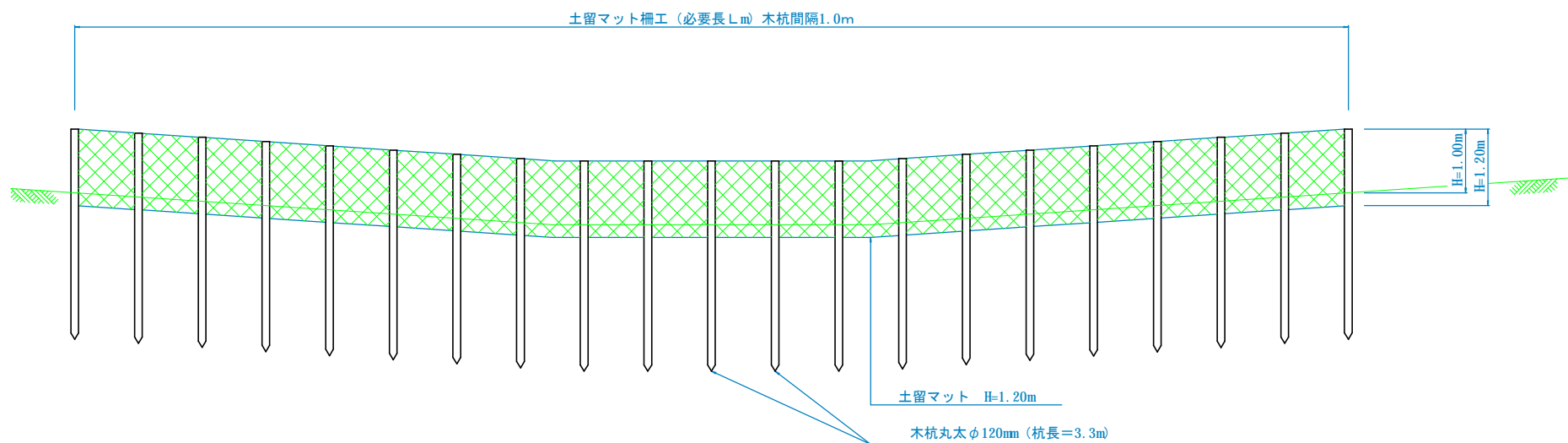
平面図
S=1/100



側面図
S=1/40



正面図
S=1/100



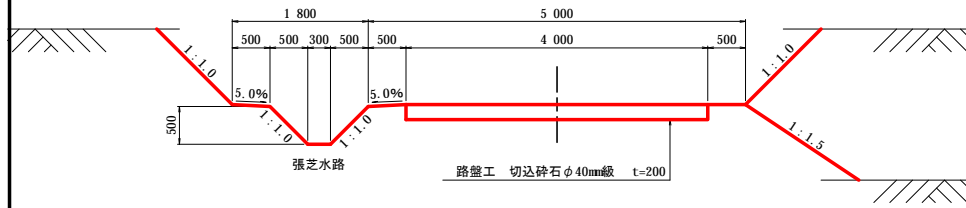
施工中及び法面植生未熟期間の土砂流出防止について

- 施工中の沈砂池規模
 施工中の沈砂池規模は、 $V = 50m^3/1ha$ 程度を標準とする。
- 本設沈砂池及び仮設沈砂池の基本配置
 施工当初に本設沈砂池を設置し、運土施工中の現況地形流末位置には、集水面積に応じた規模の仮設沈砂池を配置することが望ましい。
- 長大盛土法面の雨水浸食土砂の流出対策
 盛土法面植生の未熟期間の雨水浸食による小規模の土砂流出防止対策として、土留マットによる土留マット柵工（参考図）を検討した。
 ※ 柵工と法尻の間に設置する仕切りは、地形成りに高さ80cm程度で設置し、捕捉した土砂の谷線底部への流動・集中を抑制するためである。

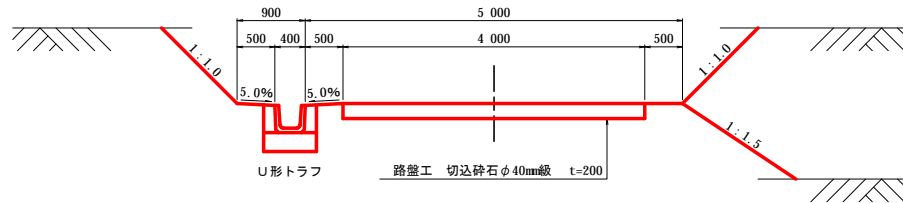
工事名	畑地帯（育成）オホーツク東部地区 調査設計1		
図面名	土留マット柵工（参考図）土砂流出防止仮設工		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		

耕作道路工 標準定規図
S=1:50

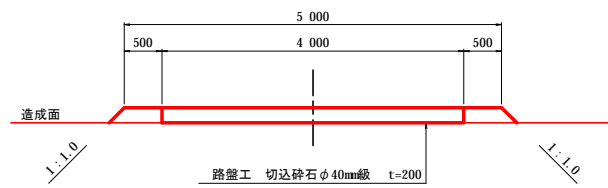
張芝側溝タイプ



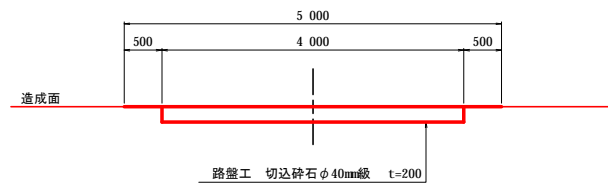
トラフタイプ



路盤嵩上タイプ



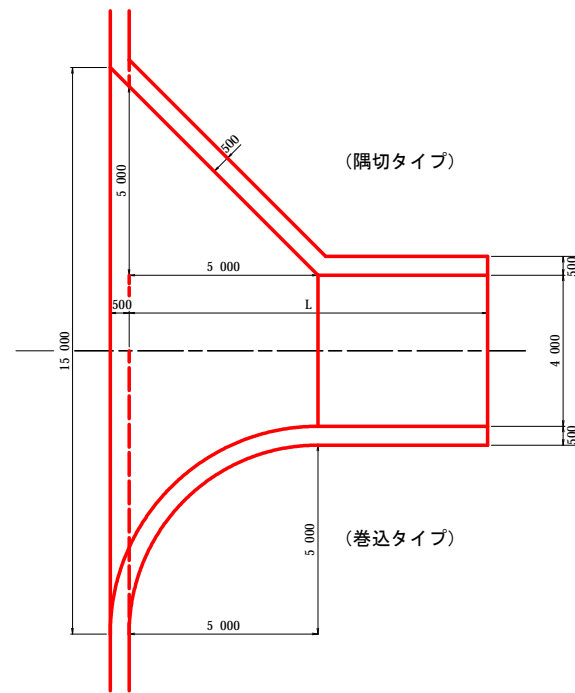
路盤掘込タイプ



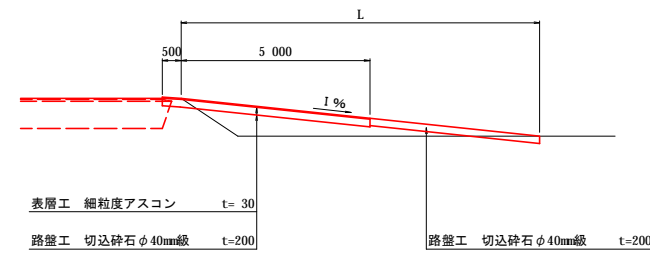
耕作道路工・取付道路工 標準定規図

取付道路工標準図
S=1:100

平面図



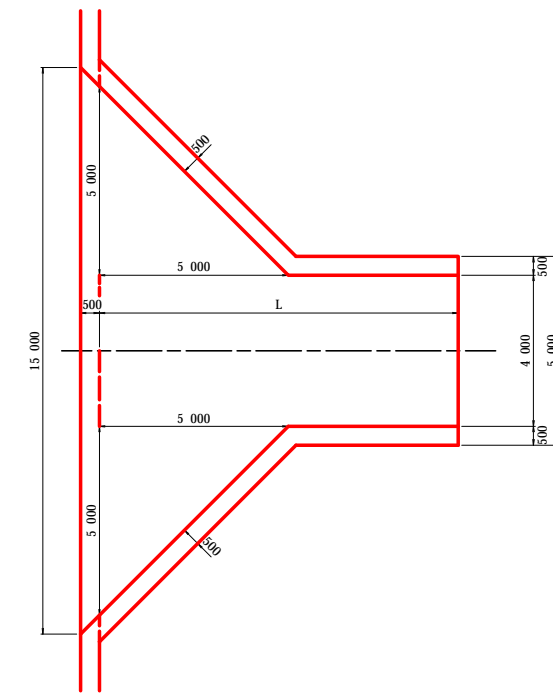
側面図



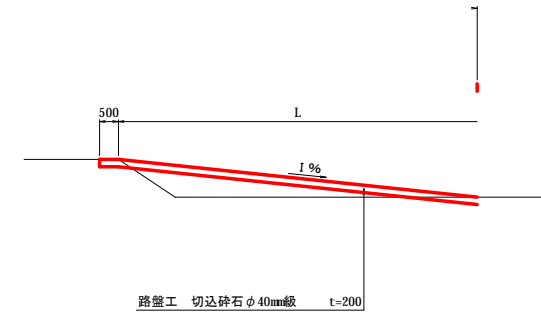
※ 舗装道取付道路

取付道路工標準図
S=1:100

平面図



側面図



※ 砂利道取付道路

工事名	畑地帯(育成)オホーツク東部地区 調査設計 1		
図面名	耕作道路工・取付道路工 標準定規図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
会社名	株式会社 ○○コンサルタント		
事業所名	オホーツク総合振興局		